RawLazy.Si
1
原作 インド僧
Indoso
作画 ヤスウミ
Yasuumi
農学博士の異世界無双
〜禁忌の知識で築くモンスター娘ハーレム〜
DRAGON COMICS AGE
DL-Raw.Se

CONTENTS

ガチャ
ガヤガヤ
第0話

よぉ…聞いたか?魔窟王の噂…
あぁ…隣国も奴に支配されちまったんだろ?
ここもヤバいかもな…
そいつの事なんだが…

圧倒的な力で勢力を広げる
魔窟王…
なんでもその正体は人間って話だ…
人間!?

RawLazy.Si
農学博士の異世界無双
~禁忌の知識で築くモンスター娘ハーレム~
原作 インド僧 Indoso
作画 ヤスウミ Yasuumi
DL-Raw.Se

…軍を出せ

古き支配者どもは殲滅する

農学博士

麻田史郎

君らにも手伝わせてすまんねぇ
まったくですよ先生…

院生の僕らがこんな農作業…
これじゃまるで農家だよ…
あら
麻田ゼミは実践派
これくらいは当然よ

それに先生は植物生態学の権威…
彼の下でなら雑用でも最高の名誉だわ…
あは…
権威ねぇ…

それにね…
先生には偉大な夢があるの
夢？

栄養失調で死ぬ子供は年間3000万人…
研究で彼らを救うのが先生の夢なのよ

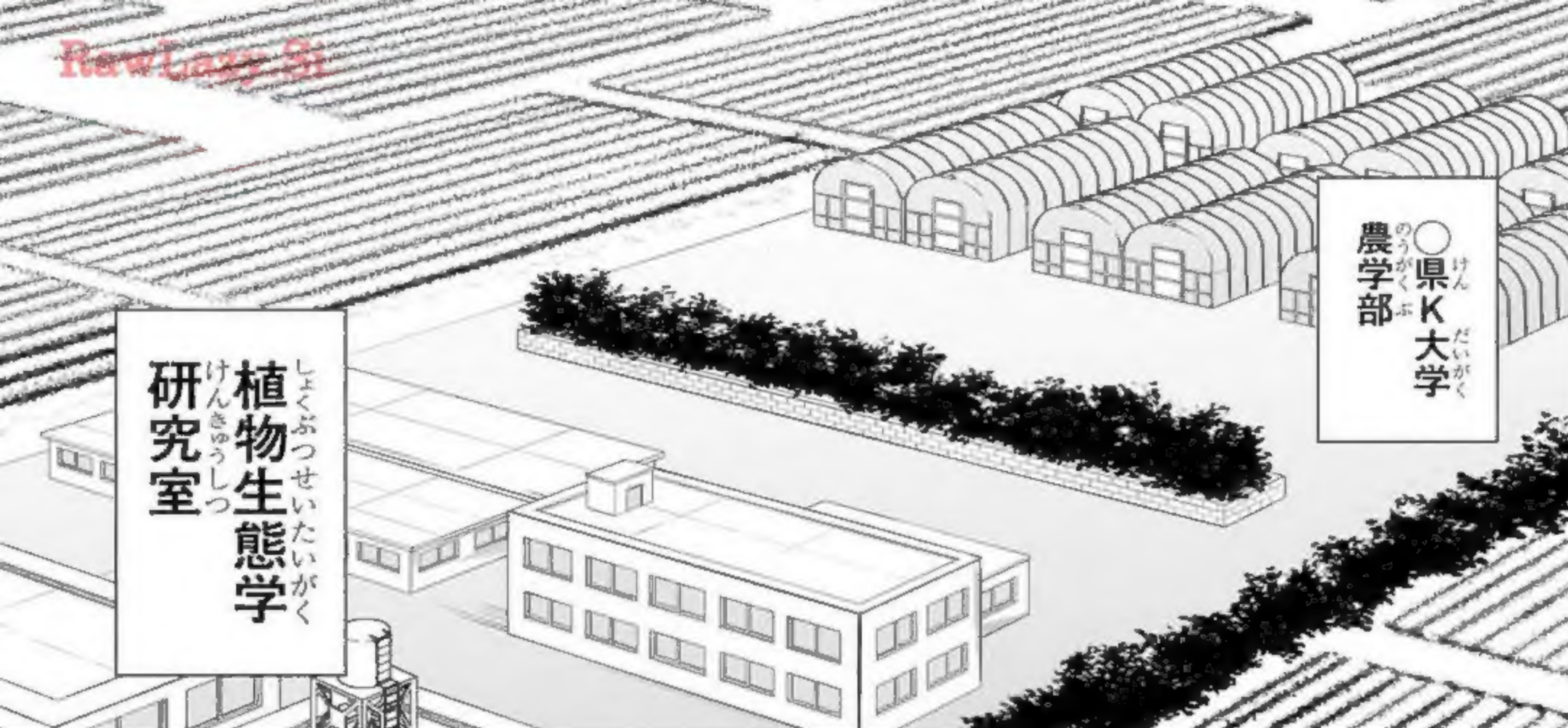
食料危機…
そこのマタタビ農園もですかぁ？

マタタビの繁殖力は強い…
食料やさまざまな薬にもなる
…聞かれてた！

あまりマタタビをナメない方がいいぞ？

す　すいません…
ダッ
作業を続けます!!

やれやれ…
人の事をベラベラと…

そう…妹の悲劇を繰り返さないために…
お兄ちゃん…苦しいよ…
ハナ…!!
私はこの仕事をしている…

だが…なんだ?
この虚しさは……

世界中の子供を救う…
そんな事をしてもハナは……

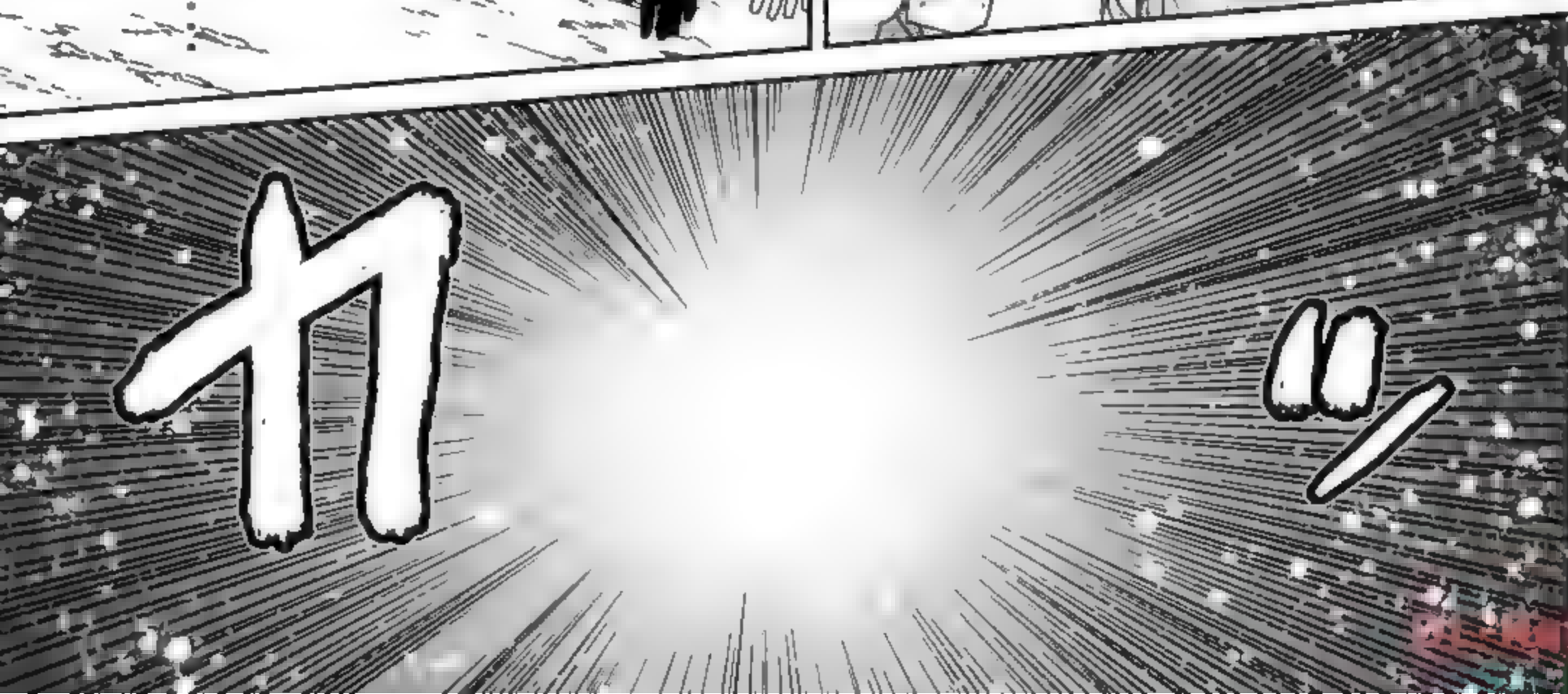
ハナぁ?寝かしときゃ治るでしょ
あたしはお仕事があんのよ

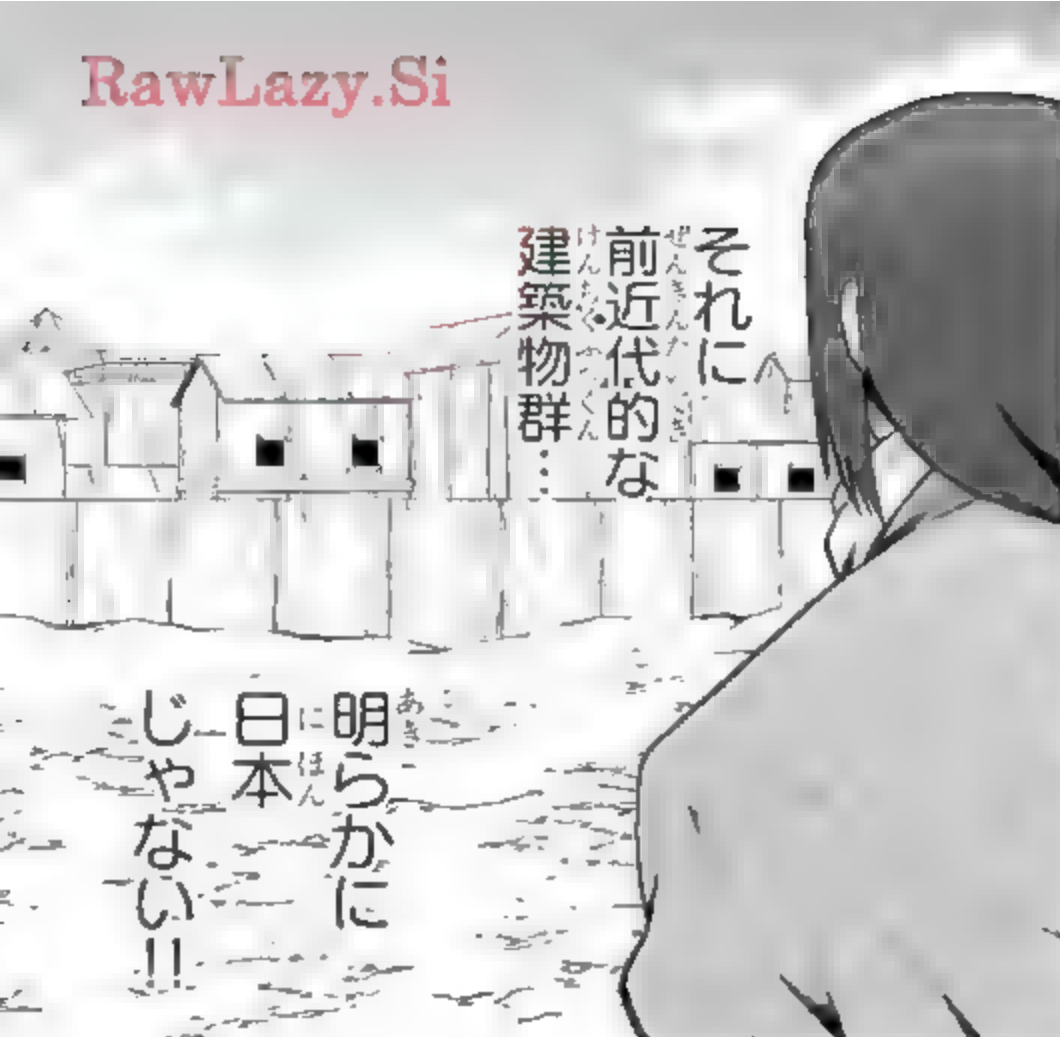
ギリ…

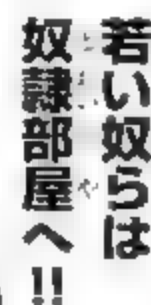
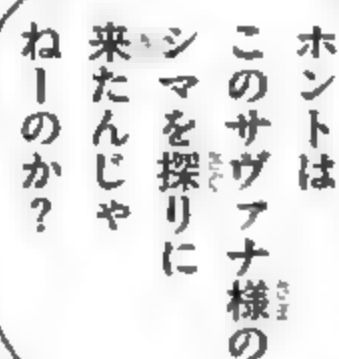
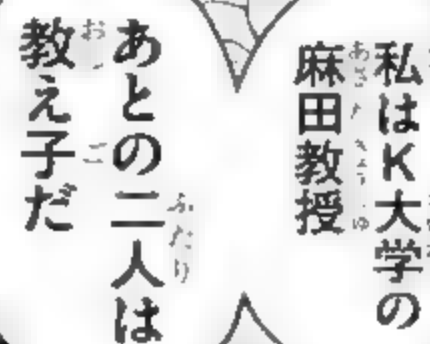
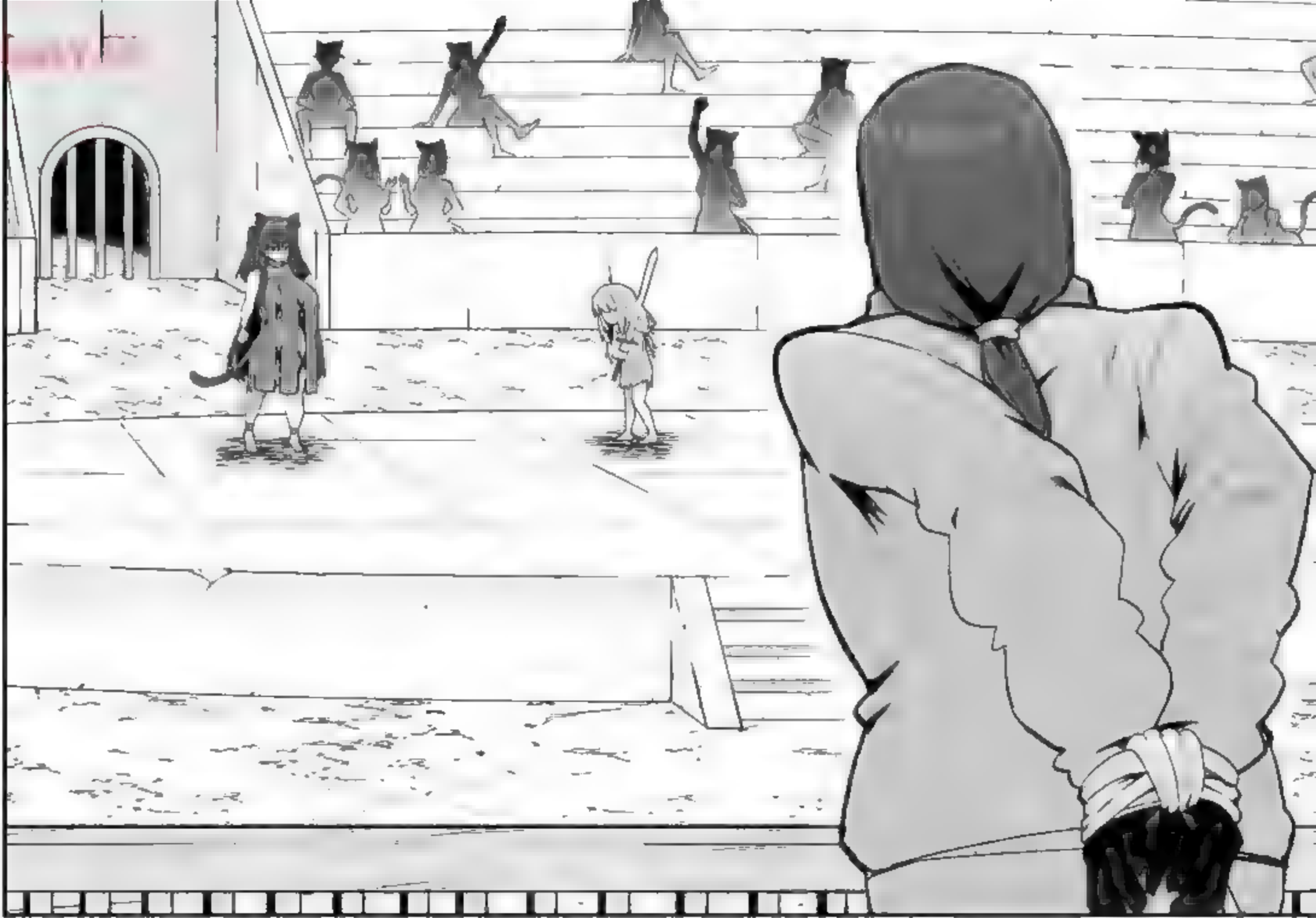
ガキン

…あれ?
何か硬いものが…

……金属音!?
ガツドッ
不発弾……
まずい
伏せろ!!
カ
ッ

第1話

—〇県では 戦後数十年経った今でも1日1件以上のペースで不発弾が発見されている—

なんだあの樹は!?
植物の成長限界は浸透圧の関係で140m……
それを遥かに超えている!!

それに前近代的な建築物群……
明らかに日本じゃない!!

ドカ
なんだ今のは!?
アンティノスどもの襲撃か!?
ドカ

ザザッ…

なんだ テメーら…
?
人間か
獣人!? いやまさか… 特殊メイクか?
すた
すた
…お前達こそ 何者だ? その耳と尻尾は…
変な建物に 変な服…
何者だ?
ガッ
!!
ドサッ
……質問してンのは こっちだぜ?

私はK大学の麻田教授
あとの二人は教え子だ
ぱし
ぱし
ダイガクぅ？キョージュぅ？
さっぱりわからんな
イカれてンのか？
ホントはこのサヴァナ様のシマを探りに来たんじゃねーのか？
違う…
あんたの名前も初めて聞いた…
ガシャ
まぁいい…正体なんぞわからなくても
「娯楽」として使う分には問題ねぇ…
若い奴らは奴隷部屋へ!!
こいつは闘技場へ連れて行く!!
先生！
闘技場…？

ここは…

……すごい!!
まるで獣人達の町だ!!

ここが…闘技場!!

すごい歓声だ…

中で行われているのはまさか…

やはり…
獣人と
人間が…
闘わされている!!

しかも
人間の方は
まだほんの
少女
じゃないか!!
ガタ
ガタ

どこか
ハナと
似ている…
お兄ちゃんっ

来ないなら
こっちから
行くぜ！
ギラ…
いかん！
やめろおおおおッ!!
ザシュ

ワァァァ
ドン
おーっと
これはモロに
入ったぁぁぁ!!

人間奴隷……
一撃で
ダウゥゥウウン!!

ひどい…
わざと致命傷を与えず…
嬲り殺しだ!!

ネコ科の動物は狩りをする時
仕留めた獲物を弄んで楽しむという…
だがもっと思い出すものが…

親のツマミ勝手に食いやがって!!
晩酌も出来ないじゃないっ!!
やめてよー ハナも僕も昨日から何も食べてないんだよ…!!

ここも同じか…
ギ…
弱者は平然と踏みにじられる…ッ!!

いや…もっと酷い…
ここは社会全体がそれを容認して…
楽しんでいる…ッ!!

ひっ…
ひぃいいいい!!
ぼ 僕らも
あんな風に…!?
あんまりだ
あぁぁぁぁ!!
ピーピー
うるせぇなぁ
あんまり騒ぐと
今すぐ
黙らせるぞ
カチャ…
ビッ
ミッ
ツ
ひっ…
ひぃいいいいい!?
次は首を
かっ切る
お…
おいッ!!
ドクドク
き…
貴様ぁぁぁ!!
私の教え子に
手を出すな…

ガヅッ

闘技場では毎日何十人も死ぬ…

いちいち騒ぐんじゃねぇ

ぐぐ…

なんて…

なんて醜い世界なんだ…ッ!!

ぐらっ…

ザザッ
うっ…
うっ…

私が代わりに闘うッ!!
勝ったらこの子を治療しろッ!!
許可を出せ…
サヴァナ!!
……
……いいねェ
気に入った
あーっと ここで変則マッチが組まれました!
ワァァ
ァァァ

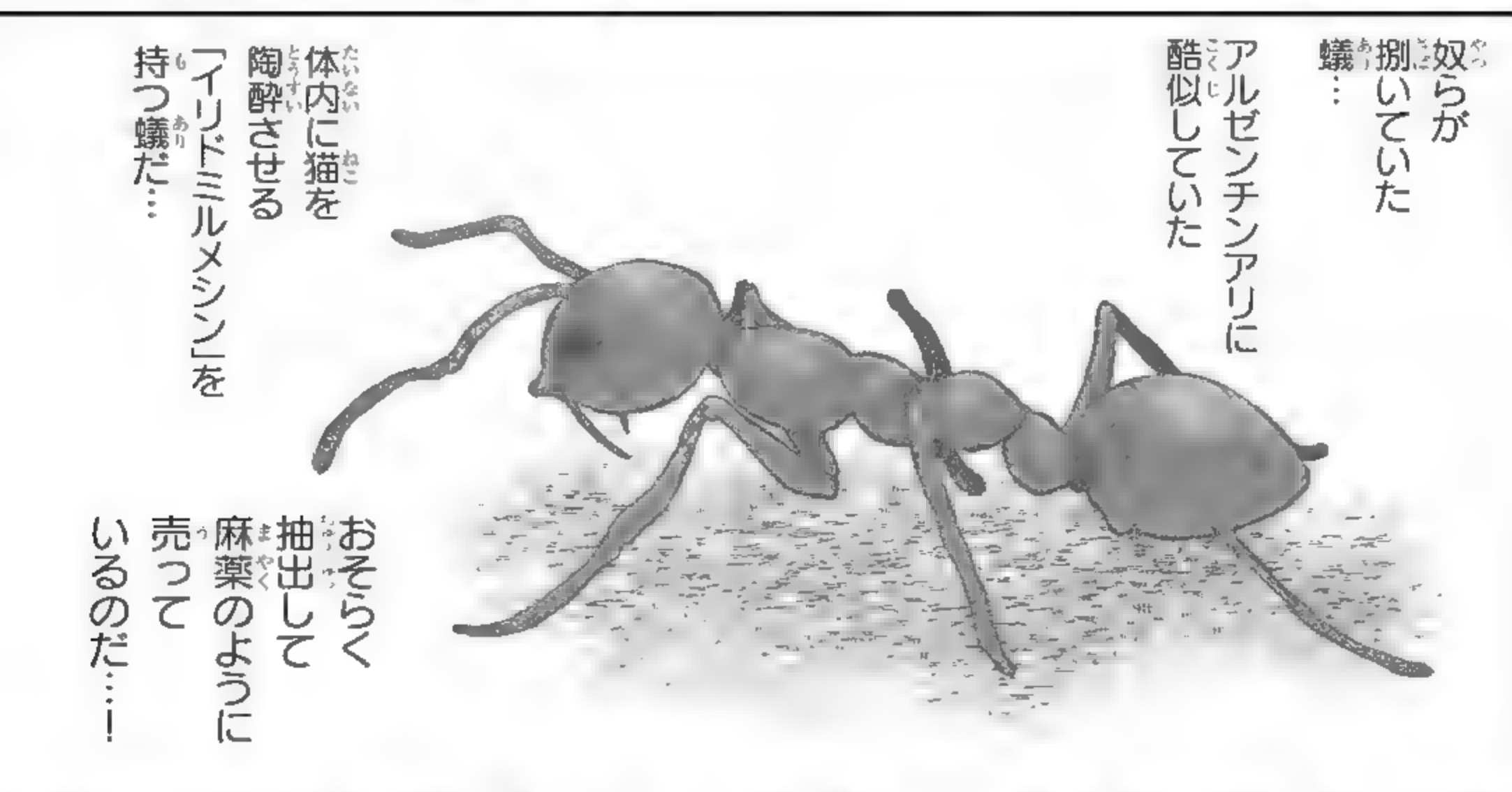
美しき花形闘士ミーア!!
・・・・
VS・・・人間奴隷・・・
アサダ・シロー!!
ガシャ・・・

しっかりしろニンゲーン!!
キャハハハハ
そんなへっぴり腰でミーアに勝てんのかよー!!
多少は心得があると思ったが
あの構え…完全にシロウトだな
どうするつもりだ…?
子供を見捨てられなかった…か
その甘さ…
ふりふり
……
あの世で後悔しな!!
ドッ

ヒュッ…
サッ
思った通りだ…
ネコ科の動物は襲いかかる前に尻を振って照準を定める予備動作をする
いつ攻撃してくるかわかれば
かろうじて躱せるッ!!
なめるなっ!!
だが長くは持たん!!
今だ!!
攻撃にタイミングを合わせて…
パキ

くっ…
目潰しか!?
けほ
けほ
こんな物で
私が…
ゴシ
ゴシ
効くはずだ…
効いてくれ!!

畑からこっそりマタタビの実を握り込んできた…
効くかどうかは賭けだったが…

街で「あれ」を見て
効くと確信出来た!!

奴らが撒いていた蟻…
アルゼンチンアリに酷似していた
体内に猫を陶酔させる「イリドミルメシン」を持つ蟻だ…
おそらく抽出して麻薬のように売っているのだ…!

マタタビにはイリドミルメシンだけでなく「β-フェニルエチルアルコール」「アクチニジン」「イソイリドミルメシン」「ネペタラクトン」…
猫を陶酔させる物質が多数含まれている…
確実に効くはずだ!!
……

ふ……

ふああああああっ!?

効いたか…
がくんッ
賭けに勝ったな…

正直ホッとしているよ…
ふう…
避け続けるにも限界があるからな

こ…
こにょていどでぇぇ……
ガク
ガク

無理はするな…
すっ…

少し触られただけで

ビクッ

とんでもない快感が全身を貫いているはずだ

なでなで

ビクッ

確かネコ科は
尻尾の付け根が
弱いんだったな…

ポンポン

みゃあああっ…!?

き…きもち
よすぎるぅぅ…

はーっ

はーっ
あっ

からだじゅう
電気が走った
みたいぃぃぃ……

はーっ
はぁ…

ガク
ガク
はー はぁ
はー
んん
ミーアが
小便漏らしてやがる!!
じょろろろろ…

こんなんじゃ
もう…
あっ…
ぴくぴく♥
二度と闘技場
出られないよぉ…
腕力じゃ
勝てないからな
…
こうするしか
なかった
許せよ…
おい
これ以上彼女に
恥をかかせる事は
ないだろう
ゴングを
鳴らしたら
どうだ？
びくっ
え⁉
は…はいっ‼

ゴオオン
しょ…勝者
アサダ
シロー
ーーーッ!!

ミーアに何て事しやがる人間―――ッ!!
金返せーッ!!
約束は果たした
あの子に治療を受けさせろ
クク…
妙な魔法を使う奴だ
…いいだろう

本来負けた奴隷が治療を受けられる事はねぇ

これは私の畑から採った「マタタビ」の実だ

先ほどの戦いで使ったのはこれだ

マタタビの栽培法は特殊だ
あんたらでは絶対にわかるまい
それより…私を雇わないか？

くはっ…
こいつぁ
すげえ!!

ドッ
クン

世界樹の
てっぺんまで
ぶっ飛びそうな
気分だ!!

おい…
身体貸せ！
キメながら
ヤるんだよ!!

ドン

！

パリッ

あんなとこで
おっぱじめ
てるぞ!!

サヴァナ様!?

……

これでいい…

こいつらにとってマタタビは麻薬のような物…!!
流通すれば必ず退廃を招く
ニチュ♡
ニチュ♡
ニチュ♡
あは♡
私はこいつらの社会を…
内部から崩壊させてみせる
こいつぁ売れるぜ!!
決まりだ!!
ゆっさ♡
ゆっさ♡
パン♡
パン♡
あんたと手を組むぜ!!
交渉成立……
だな

おいお前
悪く
なかったぜ
薬の効果だけ
じゃなく
…な
……
第2話
前編
だッ
つれないねぇ…
あんなに急いで
どこへ行くやら…
まぁ
あそこしか
ないか…

くそッ
族長を懐柔するためとはいえくだらん事に時間を…
彼女はどうなった…!?

おい医務室はどこだッ!?
あ あっちだが何故人間が…?

バタン

!!

ぜぇ…
ぜぇ…
ぜぇ…
うぅ…

どけッ！
私がやるッ!!
貴様！人間風情が勝手に…
ドン
やらせてやれ
サヴァナ様!?
ヨモギの葉には止血・抗菌作用がある…
ゴリ
ゴリ
応急処置程度だが無いよりマシなはずだ…
……

自分の無力さを痛感する…

農学は長期的な食料栽培や環境改善には向くが

こうした短期的治療はあまり得意としていない…

くそッ…

殺菌の観点から言えば直接の塗布は望ましくないが…

今はとにかく止血が優先…!!

なんとか…
なったか
ふぅーー…
パチ
あれ…私は…
どうしてこんな所に…?
君は闘技場で倒れたんだ…
だが傷は浅かったようだ
もう大丈夫だ

あなたが助けてくれたんですね…
ありがとう…
おにいちゃん…
ありがとう…
じわ…
パチパチ

感動的な芝居だったぜ
お前みてーな悪党が
どうしてそんなチビに必死になるのかわからんがな…
パチ
パチ
先生は悪党なんかじゃないわっ!
いつだって子供達のために…
ちょっ…逆らわない方が…
あわわわ…

まその悪党のおかげで助かるんだ
パラ…
ありがたく思うんだな

RawLazy.Si
お前ら！こいつらに家をあてがってやれ…
賓客待遇でな！
はっ！
……
わかったわかった…そう睨むな
そっちのチビも奴隷には戻さんさ
同じ家に運んでやれ

シャアアア
アア

あー気持ちいい♪
こんな世界でシャワーが浴びられるなんて…
生き返りますね～
古代ギリシャの『ヒップ・バス』と似ているな
頭上の容器から水が出る単純な物だ
専門外の事でも詳しいですね…

それにしてもマタタビを材料に交渉するなんて…
さっすが先生♡
いや…正直賭けだったさ
だがおかげで取引相手として客人扱いになれた
こうして町外れに家まであてがってもらえたしな
奴隷の少女も…
ここで治療を続ければじきに治るだろう

あー
さっぱりした♡
ホカ
ホカ
ワーワー
ん？なんだ…？
外が騒がしいですね…
ガチャ
…誰だ？
我々は族長の許可を得てここに…

ドドドド
ひっ…
獣人があんなに……!?

シロー様あ〜〜♡

ドドド

強いオスって素敵〜〜♡♡♡

素敵!?

ド

第2話 後編

もう我慢出来ないわ！
ドドド
シロー様！
ドドドド
このまま私達と交尾を…

そこまでだ
ガシャ…
…中には入るな
お前は確か闘技場の…ミーアか
どうしてここに?
フン…あたしだって来たくなかったさ…
お前なんかの護衛にはな
ザク
護衛?

見ての通り獣人族は強い奴を雄として求める…

闘技場で勝ったお前は今や憧れの対象って訳だ

だが客人のお前に何かあるとまずい…

だからサヴァナ様が護衛としてあたしを寄こしたのさ…

…って訳で大人しく帰んな！

散れ散れ!!

ちぇ～っ

シロー様にみっともなく負けたくせにぃ

なっ…なんだと!?

ブブッ

…ったく一回負けたくらいでナメやがって…

だいたいなんであたしが人間の護衛なんぞ…

……とか言って顔が赤いわよ
あんたも先生に負けて惚れたんじゃないのぉ？
ふ ふざけるな！ 殺すぞ!!

くっ… 紳士ぶりやがって…
あたしにあんな恥をかかせた癖に…
誰がこんな奴…っ!!
私は先生が心配なんです

だがなんだ この気持ちは…
これが強い雄に逆らえない獣人族の本能…だってのか…？
ドキ
ドキ
キュン…♥
それに あの薬… あの陶酔感と この男の顔が 結びついて 余計に……

あんな負け方をしたんだ…
しばらく闘技場には出られまい
だがただ闘士から外すのでは
負けて冷遇されたように見えかねん…
ろろろ…
だから私の護衛という緊急任務に当たらせる事にした…
あの族長…粗暴そうに見えて気遣いが出来る奴じゃないか
ふふ
こ…こいつっ…
わかったような口を…
少し…
喋り過ぎだな

シロー…だったか？

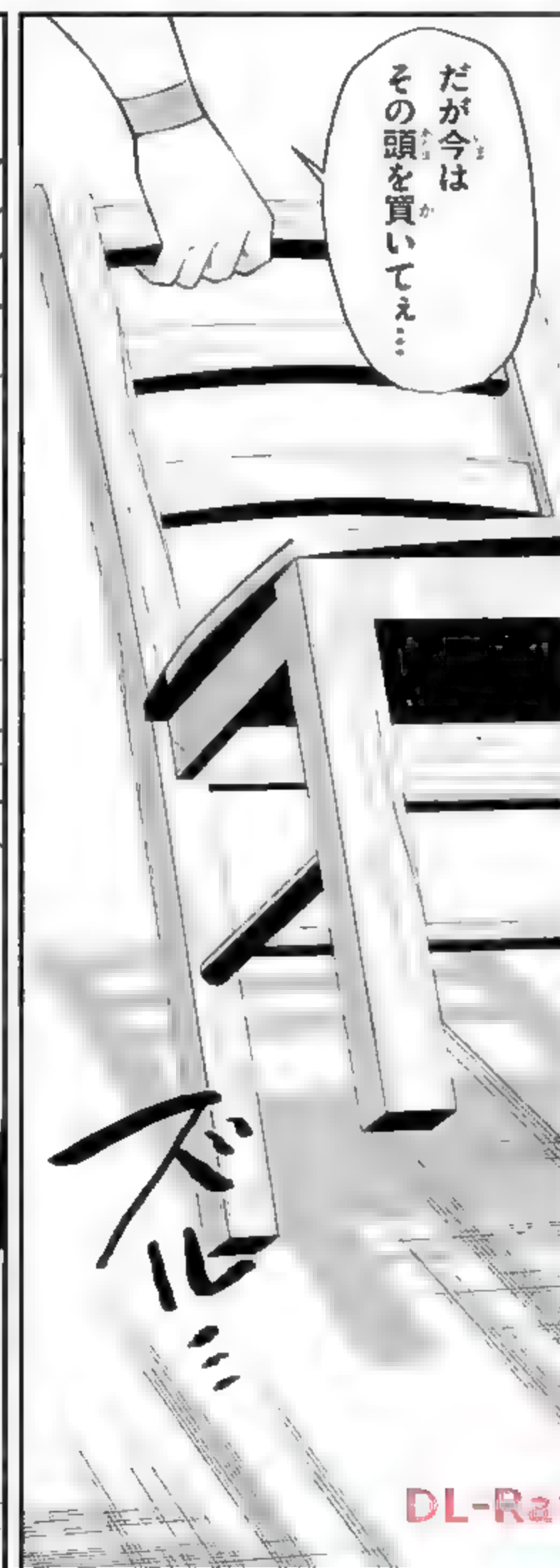
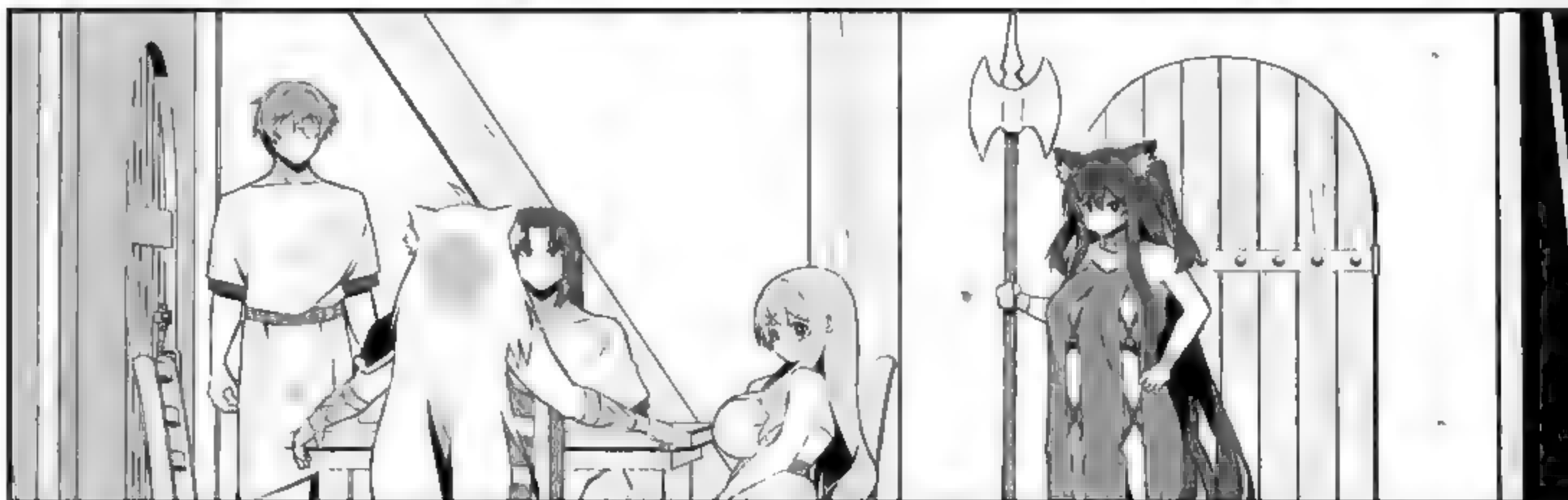
オメーは獣人の意図を読み過ぎるようだな…

あまり切れ過ぎても早死にするぞ…？

サヴァナ様…!?
いつから そこに…!?
気配の遮断も 一流という 訳か…

だが今は その頭を冷いてぇ…
ズルミ

……座れ
今後の相談といこうや
お前が持ち込んだあの植物…
マタタビと言ったか
大規模栽培するとどれだけかかる？

……マタタビの苗植え時期は11～4月…
収穫は8～9月だ
気候や時期が我々の世界と同じならば…
1年近くかかるな
……
遅い
そうは言っても仕方なかろう…
今は畑にある分だけで我慢…
無理だな

アタシはせっかちでねぇ…
待つのが苦手なんだ
…ならどうする？
植物の成長を促進する方法でもあるのか？
あるにはあるが…
すぐには無理だ
それよりお前も気付いているんだろう？
マタタビの代わりになる物が…
他にもある
…あの蟻か
ああ…質は遥かに劣るがな

…蟻って？

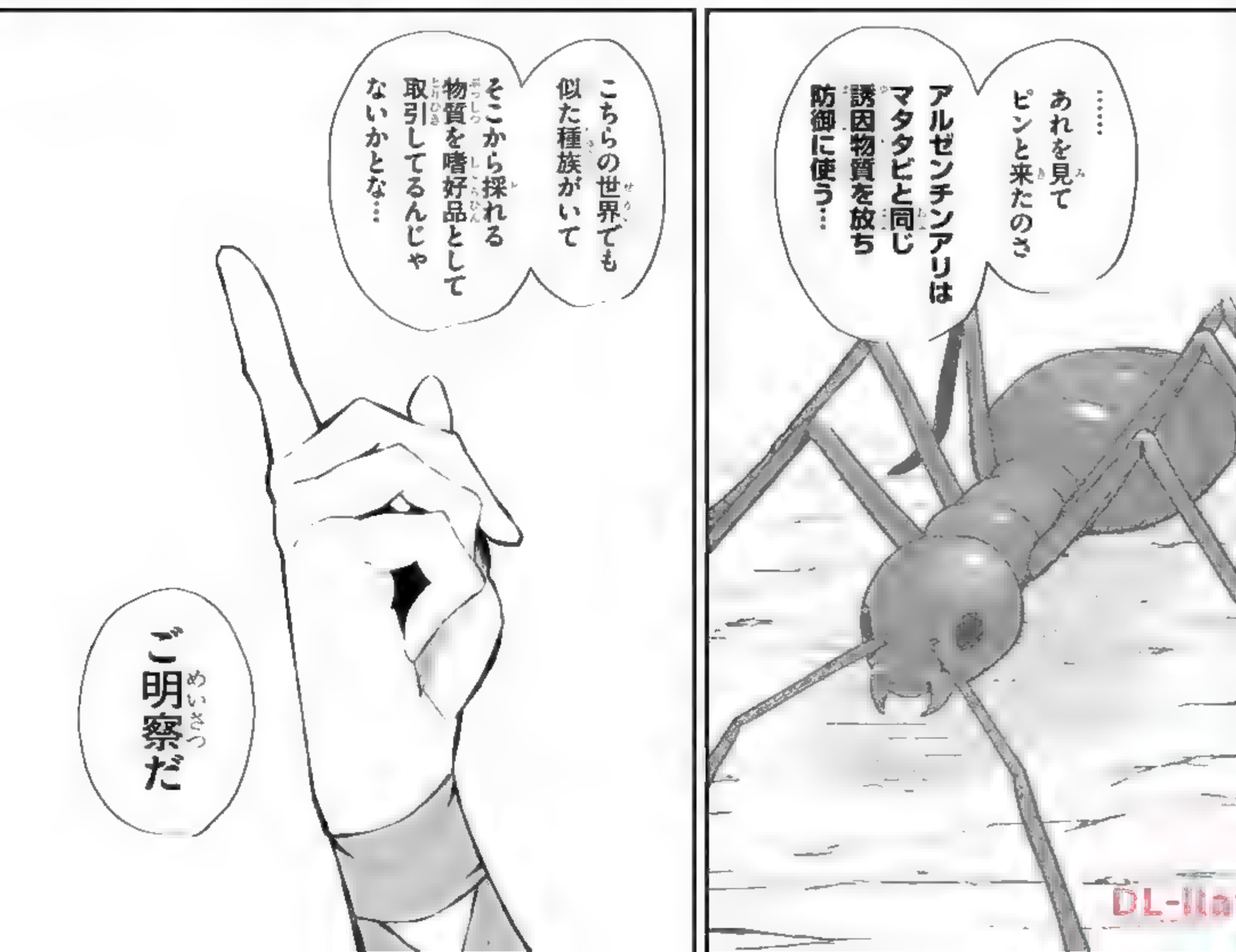
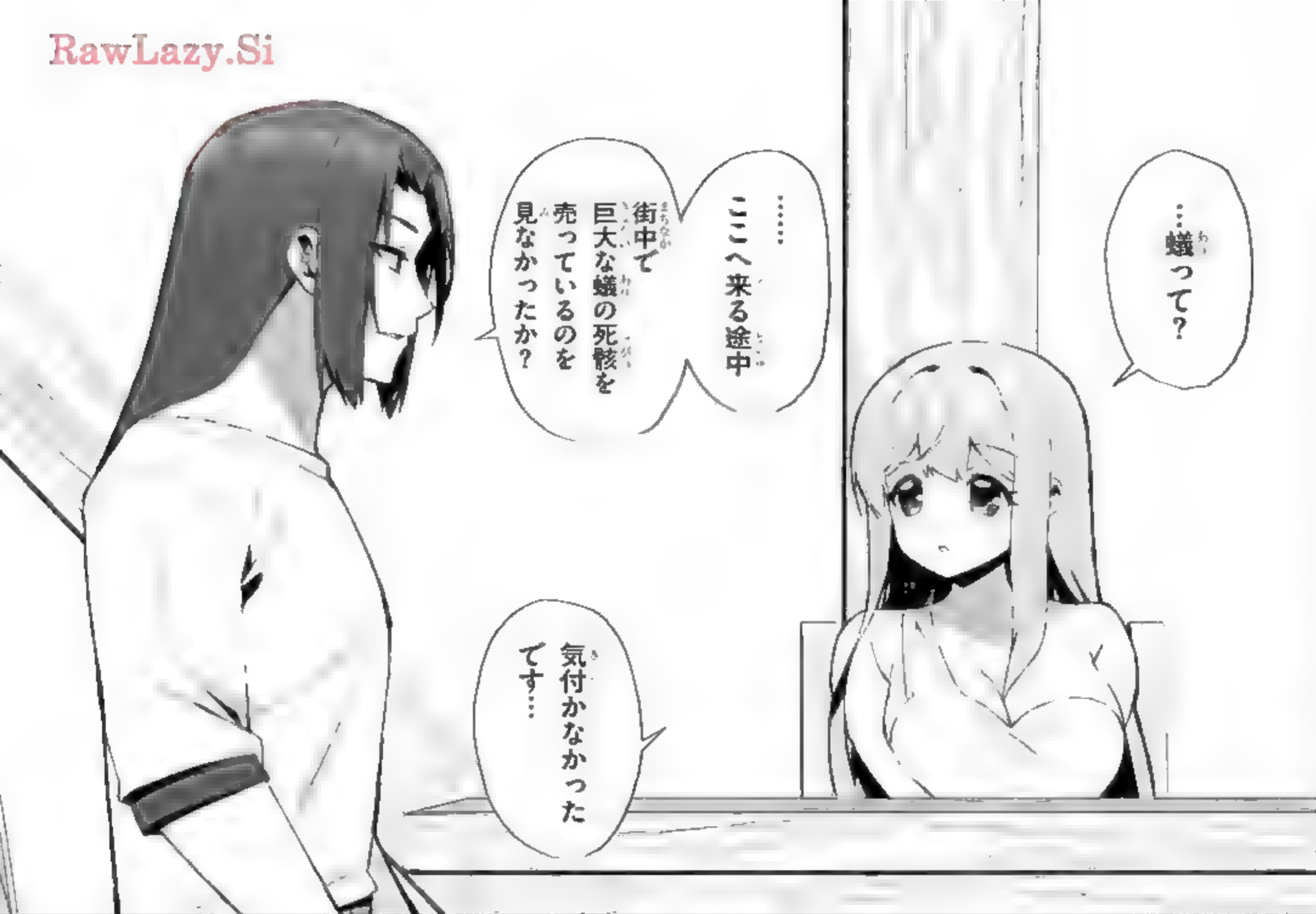
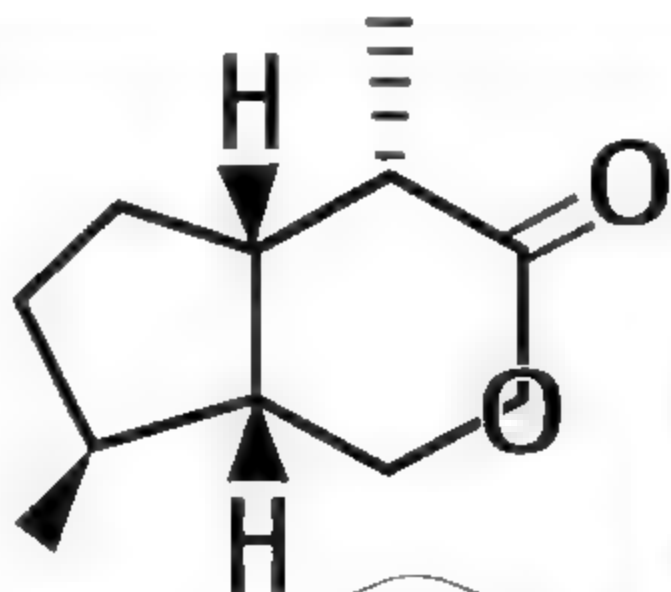
……ここへ来る途中
街中で
巨大な蟻の死骸を
売っているのを
見なかったか？

気付かなかった
です…

……
あれを見て
ピンと来たのさ

アルゼンチンアリは
マタタビと同じ
誘因物質を放ち
防御に使う…

こちらの世界でも
似た種族がいて
そこから採れる
物質を嗜好品として
取引してるんじゃ
ないかとな…

ご明察だ

ここの隣国…『アンティノス国』は
虫野郎どもが統治している
奴らは体内に妙な物質を蓄えていてな…
戦闘になるとそれを放出して武器にする
『イリドミルメシン』我々の世界ではそう呼んでいたな

名前はどうでもいいが…
奴らは厄介でな
ウチら獣人は奴らの出す「匂い」に弱い…
正面から戦うと簡単に幻惑されちまう
なので蟻を捕獲出来る機会はごく僅か
薬はかなりの高値で取引されている

だが
お前が来て
状況は大きく
変わった…

どうする
つもりだ…?
しらばっくれる
なよ
お前なら
蟻への対抗策も
考えられるだろう?

戦争だ…

連中を殺しまくって根こそぎ奪ってやる!!
国内や他の獣人国に流せばいい金になるぞ…?
お前には蟻どもを殺す手伝いをしてもらう
その妙な知識があれば軍を強化する事も出来るはずだ

農学博士の異世界無双
～禁忌の知識で築くモンスター娘ハーレム～

蟻どもを殺しまくって
根こそぎ奪ってやる

第3話

ガッ

……
ここから一番近い蟻達の住処はどこだ？

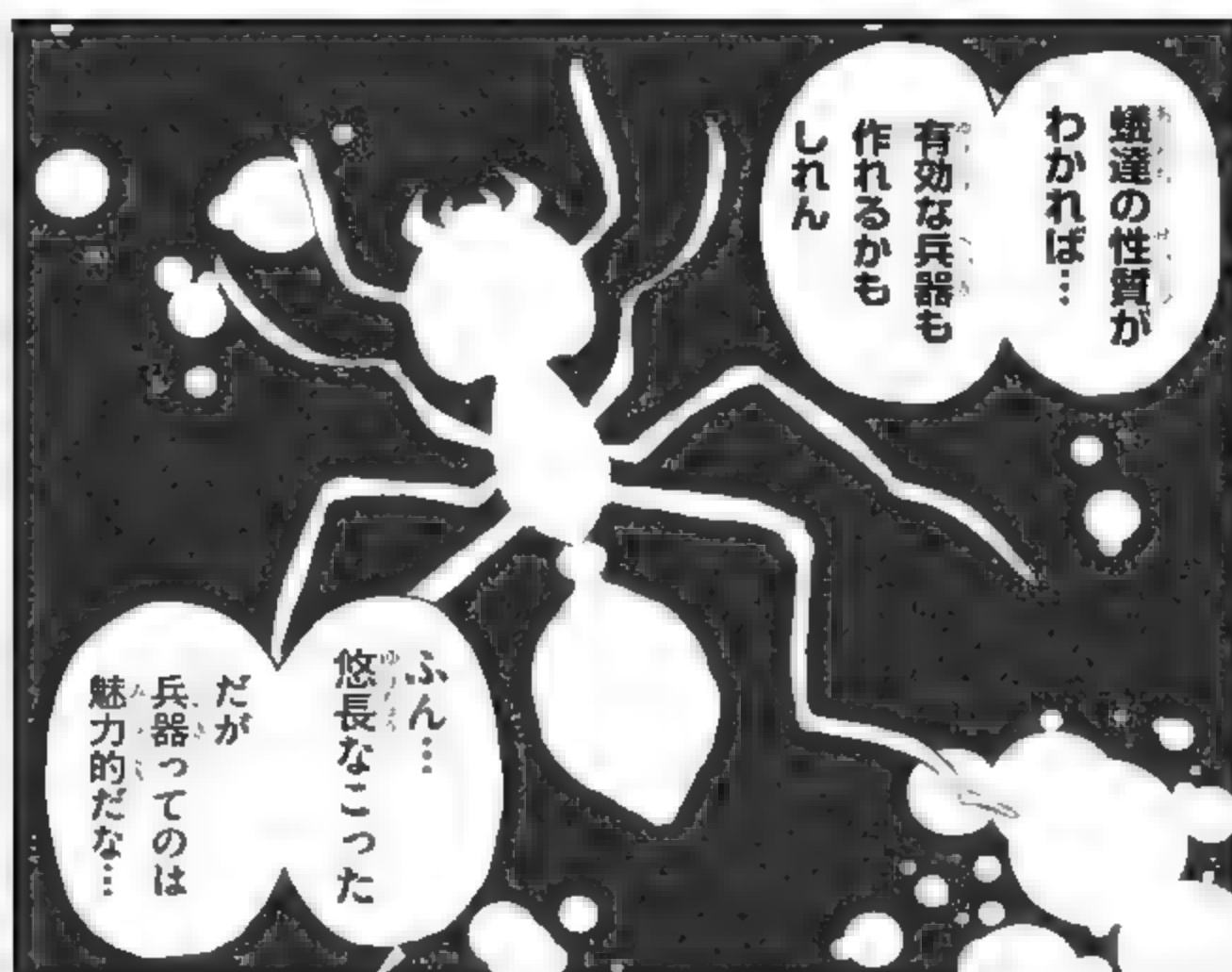
ここだ
付近の集落じゃここが最も攻めやすい

ならそこへ…私を偵察に行かせてくれ
偵察だと？

私の知識がこの世界の蟻に通用するか確証を得たい
何匹か生け捕りにし…
出来れば解剖もしたい
先生!?

蟻達の性質がわかれば…
有効な兵器も作れるかもしれん
ふん…悠長なこった
だが兵器ってのは魅力的だな…

よし
すっ…
機会を与えてやる

ただし『威力偵察』だ
コソコソ探るだけじゃあ獣人の流儀に合わねぇ
パシッ
ウチの兵士を使って集落を攻めてもらうぞ
やむを得んな…

昔ドライアド族から奪った宝珠だ
離れていてもそいつで会話が出来る
準備が出来たら連絡しろ
ああ
解剖って…ちょっと残酷じゃ…
先生らしくないような…

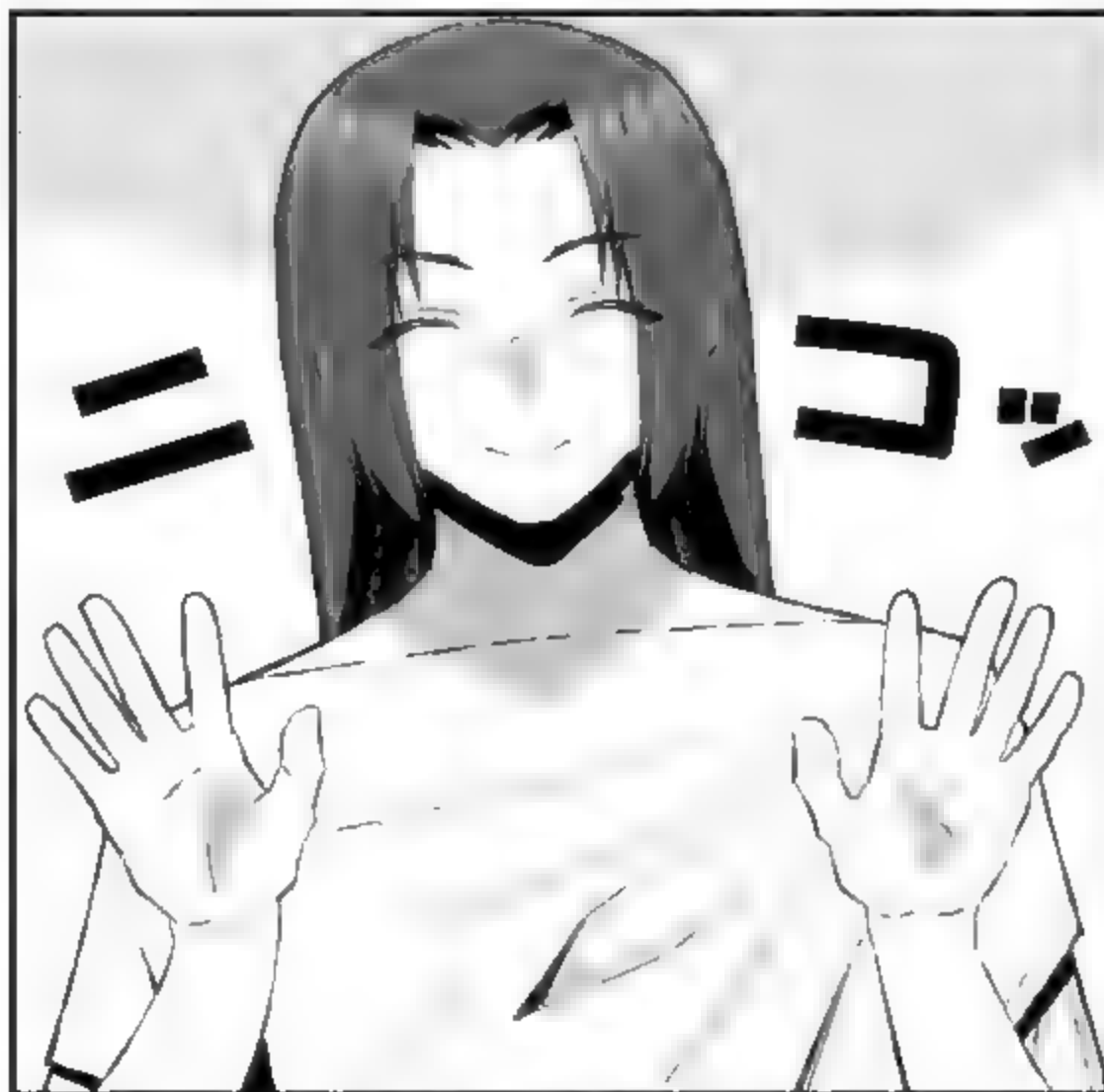
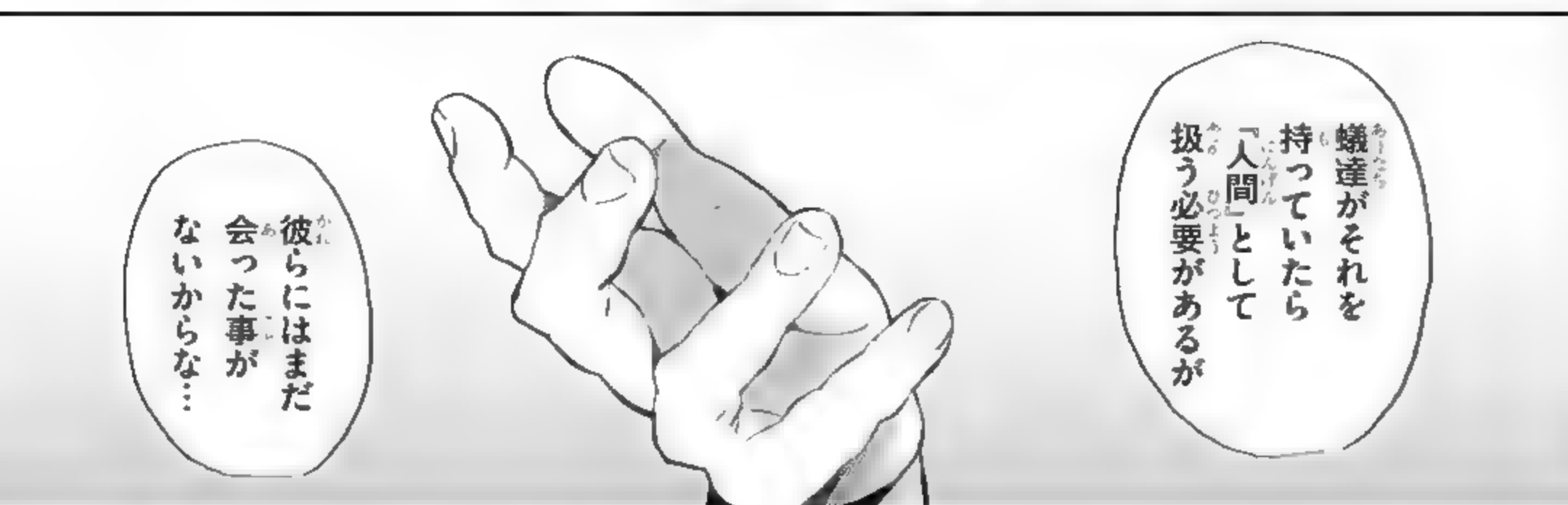
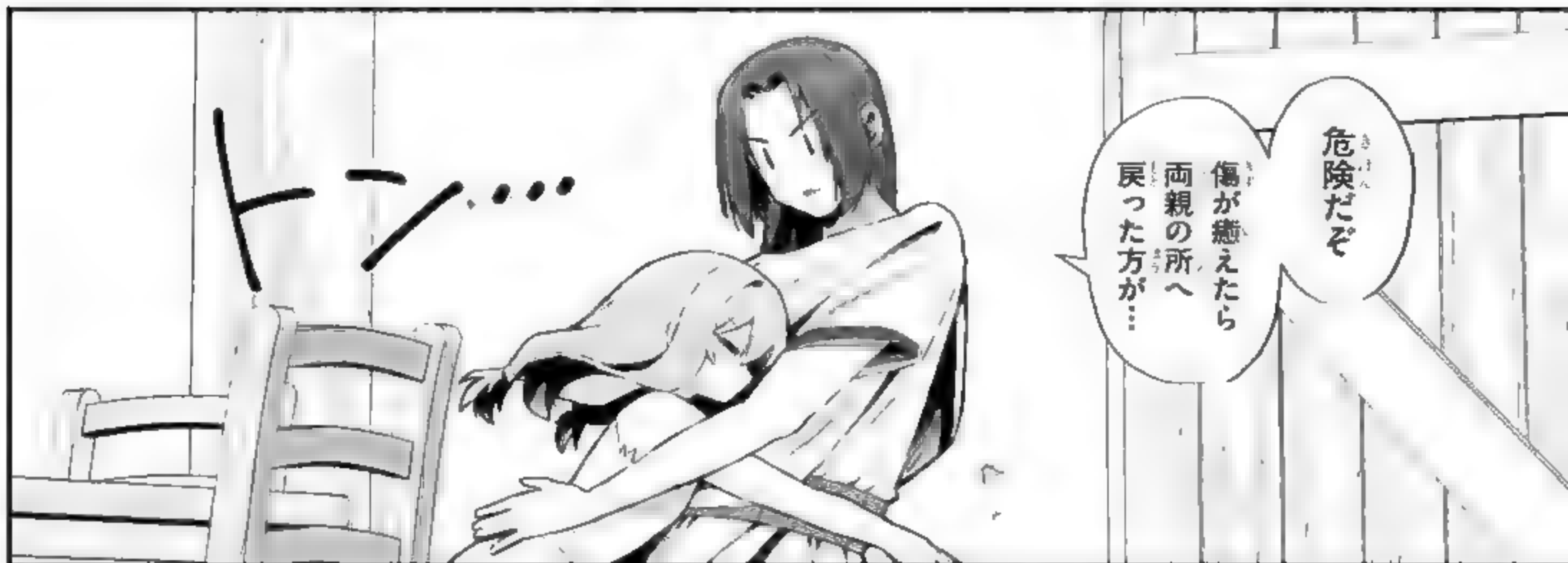
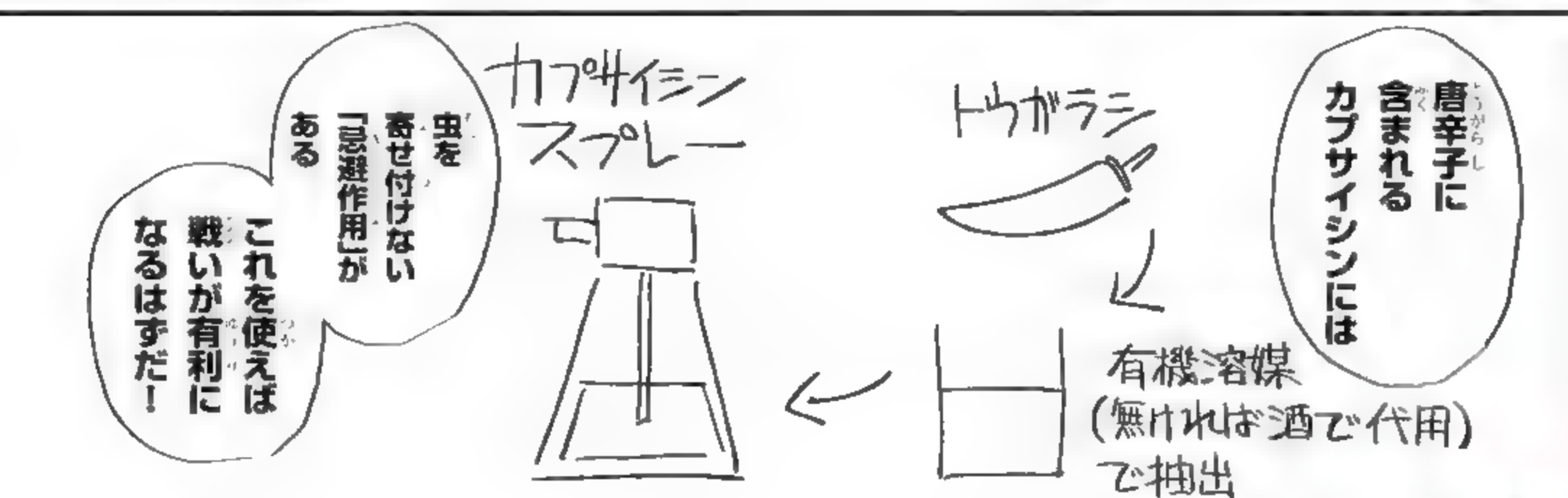
心配するな…
さっきのは建前さ

『人間』を規定するのは姿かたちではない
知性そして…
とん…
他者を思いやる心だ
蟻達がそれを持っていたら『人間』として扱う必要があるが
彼らにはまだ会った事がないからな…
調べる時間稼ぎをしたかっただけさ
先生…っ!
ぱあっ
やっぱり…シローは優しい人…

RawLazy.Si
そういえば…まだ君の名前を聞いていなかったな
私はフィオナ…
ねぇ…さっき言ってた遠征…
私も行っていい…？
トン…
危険だぞ
傷が癒えたら両親の所へ戻った方が…
両親も奴隷なの…
私を獣人の街に残していかないで…
お願い…
うーむ…気は進まないが…
むー…
DL-Raw.Se

……という訳で

『虫除けスプレー』を作るぞ!

…チッ
バカバカしい
敵を殺す
兵器じゃ
ねーのかよ

稽古でも
してくるぜ
戦いで頼れるのは
自分の肉体
だけだな

…何よあいつ
感じ悪い
でもあいつの
言う通りですよ
虫除けなんかで
戦えるん
ですか?

…よし
行ったな
え?

もちろん
虫除けも
あるが…
本命は
別にある

『殺虫剤（インセクトキラー）』だ

RawLazy.Si
当大学で栽培している「除虫菊」
この花には殺虫成分「ピレトリン」が含まれている
僅かな量でも簡単に虫を殺す
毒だ
これを有機触媒で抽出してスプレーにすれば
あ…蟻達は殺さないはずじゃ…
強力な武器になるぞ
勿論なるべく使う気はない
DL-Raw.se

殺虫剤の事を獣人達が知れば
全軍に配備し一方的な虐殺が始まるだろう
だから殺虫剤は人間達だけで持つ
命の危険が迫りやむを得ない時だけ使ってくれ

あ でも……
さっさと獣人達に教えて蟻達を殺してもらえば僕達安全なんじゃ……
あんたね！…
私はシローに従います！
…すまない
私のわがままに付き合わせて…

では早速殺虫剤作りだ！
研究室に移動!!
乾燥させて貯蔵してある除虫菊の花！
す…すごい量ですね…
今回は少量でいいがな
で…ミキサーがあるのに手作業で砕くんですかぁ!?
ゴリ ゴリ ゴリ ゴリ ゴリ ゴリ ゴリ
ピレトリンは熱で揮発する非加熱で砕くには手作業がいいんだ
ぶっちゃけミキサーでもいいが実地学習も兼ねる
ミキサー（乳鉢ミル）
ゴリ ゴリ

有機触媒に数日間漬けてピレトリンを分離！
この状態でも使えるがさらに純度を高めるため…
蒸留装置で抽出!!
あとはこちらの世界の金属容器と植物の茎などを組み合わせ…
殺虫スプレーの完成だ!!

獣人達に持たせる虫除けスプレーも完成したぞ!
こっちは数が必要なので有機触媒が足りない
抽出には現地の酒を使った
いやー疲れましたよー…
こっちは大量に作らなきゃならないんですもーん…
だが研究室の電源が使えるのは助かったな
原理はわからんが電気や水道は向こうの世界と繋がっているようだ…
へと
へと
さて…族長に報告だ
遠征準備が完了したとな
はい!

サヴァナへの報告により威力偵察は一週間後に設定された
遠征隊の隊長はシロー
戦闘指揮官はミーアが任命された

明日はなんとしても手柄を立てて…
あの日の屈辱を晴らしてやる…

あの日の……
屈…じょ…
なでなで
く……
ビクッ
くそっ…
ギシ…

ギィ…
ミーアか…
どうした？
早く寝ないと
明日に
差し支えるぞ
むくり…

ギラ…

あん時の事思い出すと…
ぷるぷる
悔しいのに…身体の疼きが止まんねぇ…っ

ガク
責任…取りやがれ…
ガク
ガク
はぁ…
はぁ…
はぁ
むに
むに
この野郎…っ

獣人族の本能か…
難儀だな…
スル…

仕方ない…
戦闘に集中出来ず死なれても困る…

はぁ
はぁ…
ズチュ
ズチュ
ズチュ
ズチュ
んっ…
んん♥
グポッ
グポッ♥
グポッ
グポッ♥

私の持ち込んだ
物質が
一人の獣人を
狂わせて
しまった…
だが
何故だ…？
何故罪悪感が
湧かない…？

異なる世界に来て
倫理観が麻痺して
しまったか…？
それとも…

あんっ
あんっ
あんっ
はっ…

先生…

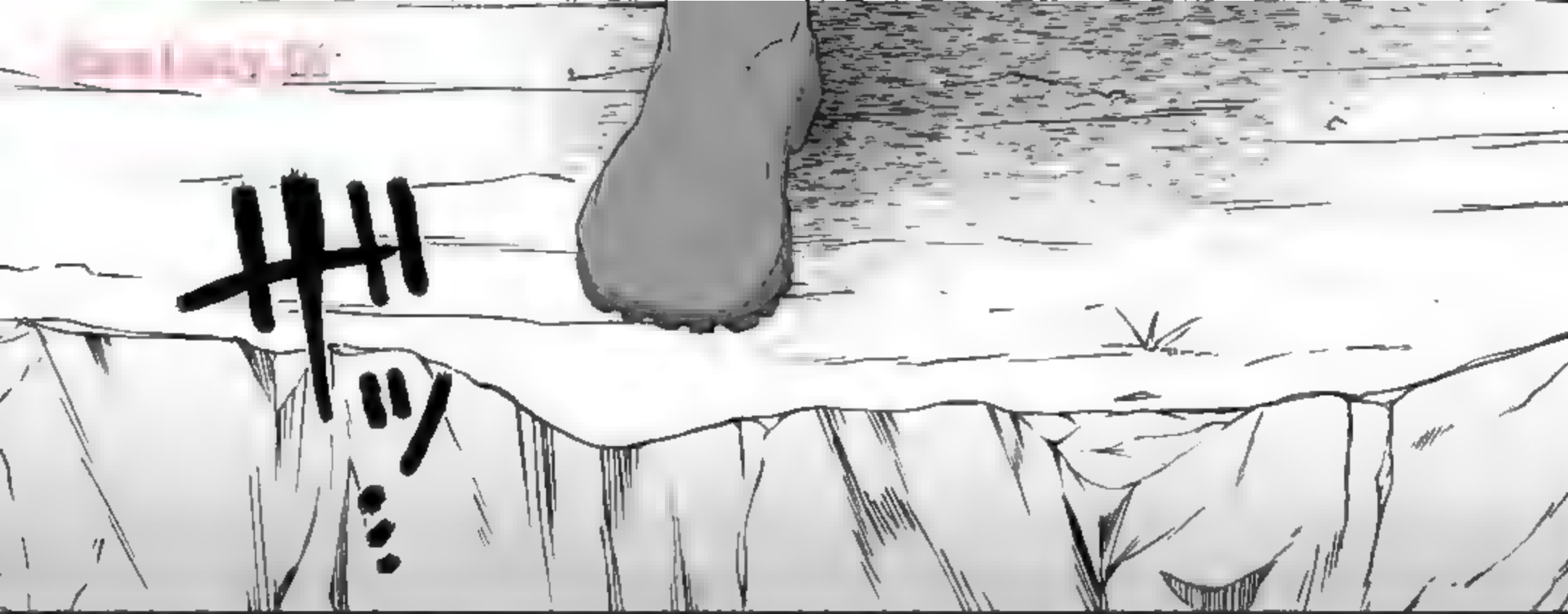
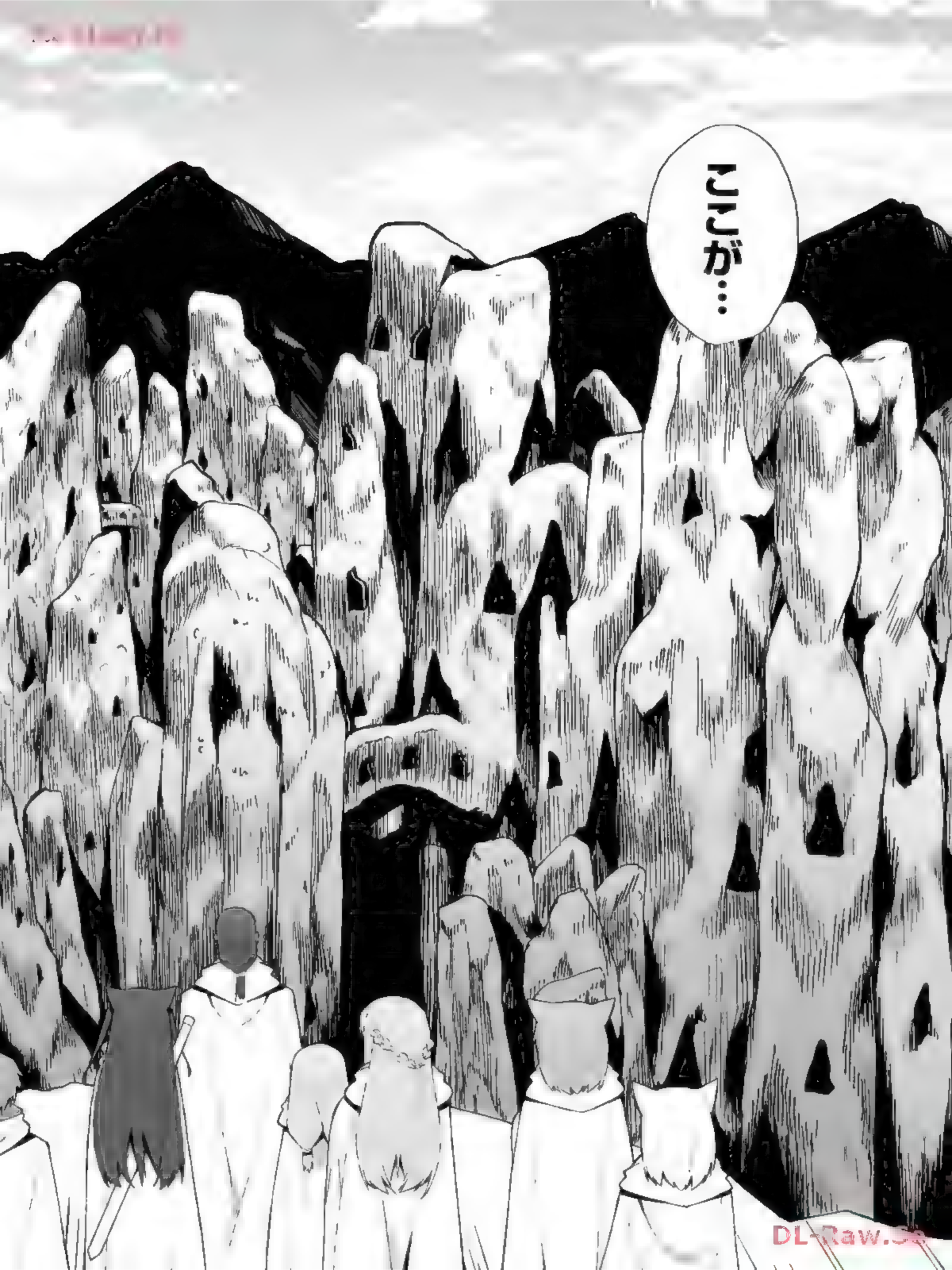
族長サヴァナの浴室
シャアアァ
あのシローとかいう人間…
何か隠してやがるな…
まぁいい…
それならこっちにも考えがあるさ…
それぞれの思惑を胸に
戦いが始まろうとしていた

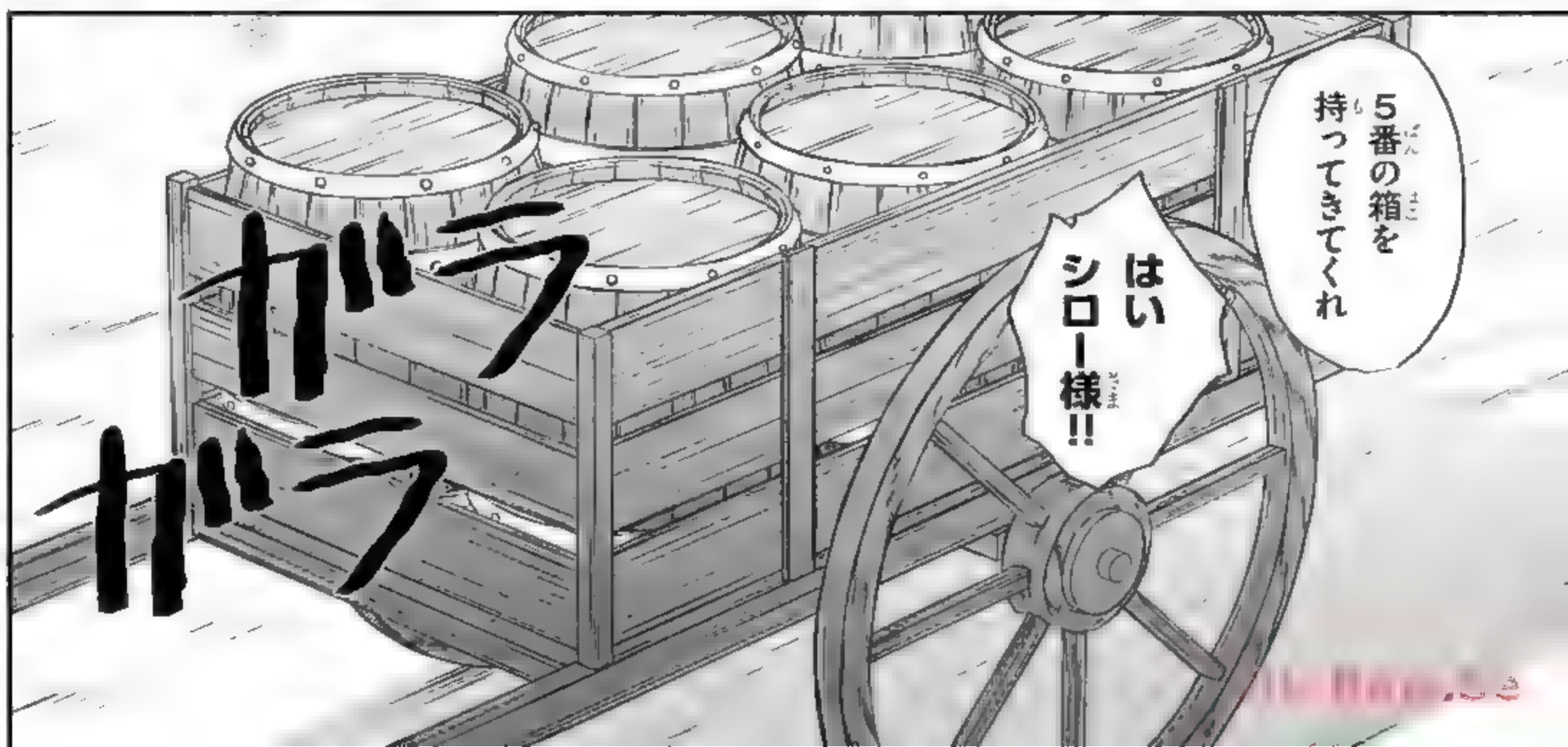
農学博士の
異世界無双
～禁忌の知識で築くモンスター娘ハーレム～

行軍に数日かかったが…

ようやく辿り着いたな

第4話

ここが…

蟻族の集落か…!!
オーストラリアのダーウィン等には巨大蟻塚があるというが…
これはそれ以上の大きさだ…!
シロー…私怖い…っ
では指示通り…まずは平和的にアプローチする
話し合いて済まず戦闘になったら虫除けで後退させる
フン…何まどろっこしい事言ってやがる
ズイ
お先に行くぜ!!
ミーア!?

バカな…
いきなり正面から仕掛ける気か!?
勝手なマネを…
やむを得ん…
ドッ
我々も行くぞ！
ズル…
フン…さっそく
ガシャ…
おでまし か…

スッ
下がっていろ…
まずは私が接触する

我々は
戦いに
来たわけ
じゃない…
…
友好の道を
探りに来た
5番の箱を
持ってきてくれ
はい
シロー様!!
ガラ
ガラ

これが我々の手土産・・・
「甘露」だ
ドーン

アブラムシは体内で合成した「甘露」を与え蟻を傭兵のように操る…
同じ物を贈れば友好を結べると踏んだ…
上手くいくといいが…

流石先生…友好策も用意してたんですね!!
……
ス…

この音声パターンは確か…

「好意」の信号!!

ありがとう…
これは「握手」
人間の友好の証だ

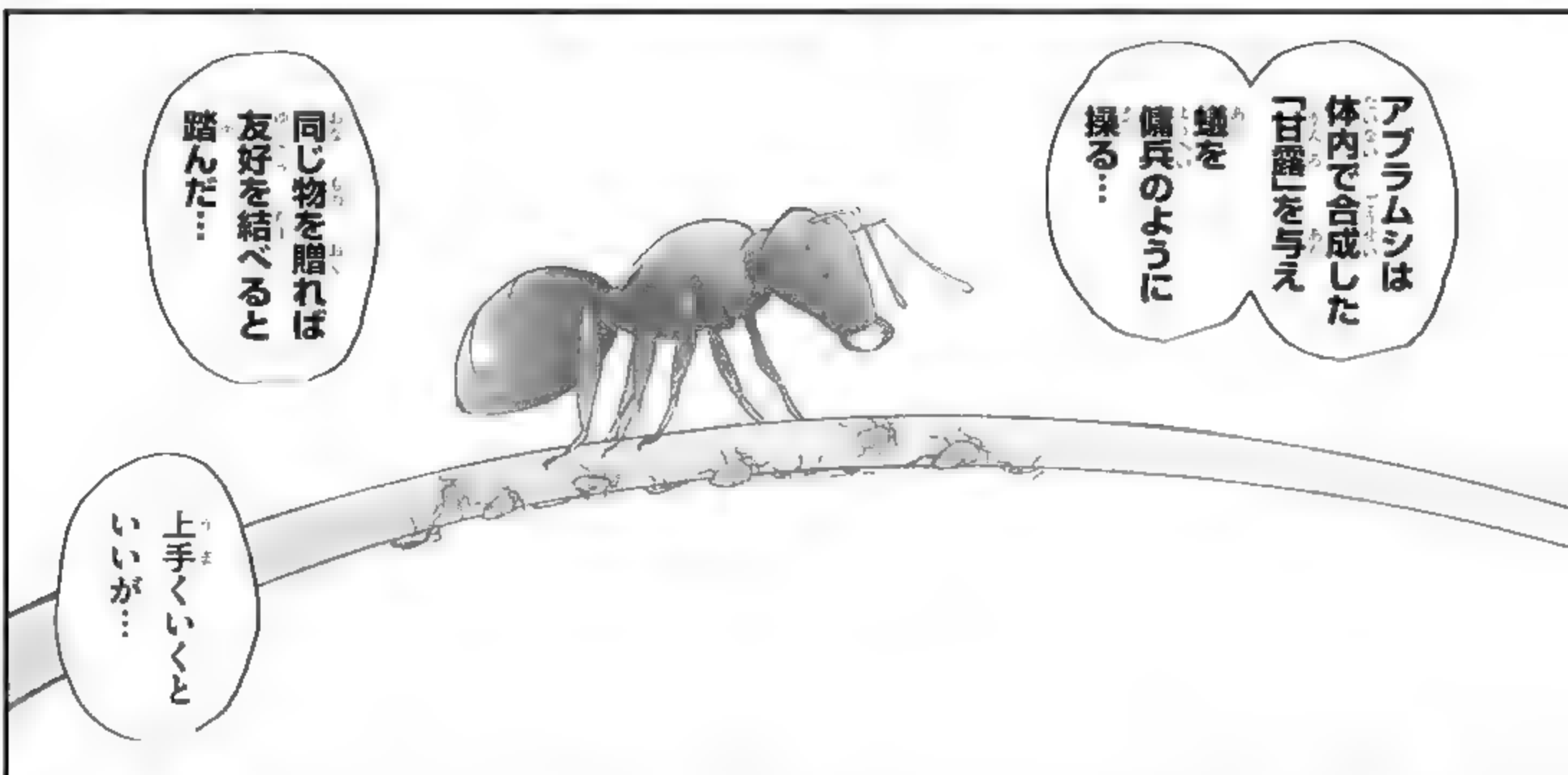
ガシッ

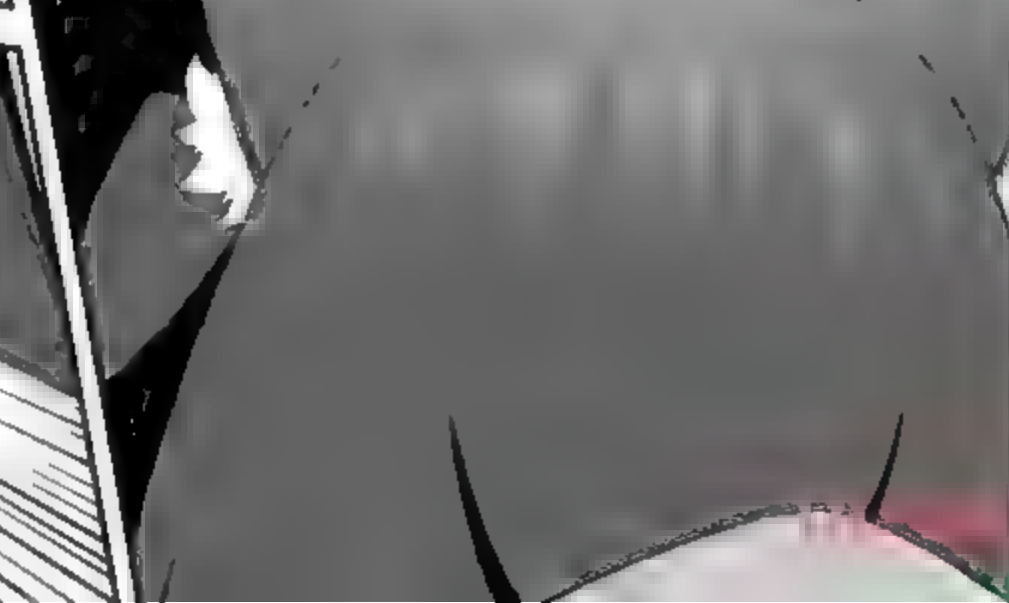
やったー!!
友好に成功したんだ!!
やりましたね先生!!
シロー!!
…チッ

何ヲシテイル…

外敵ト手ヲ結ブナド…

ポウ…
我ガ「マナ」ヲ与エル…
戦士…
外敵ドモヲ打チ滅ボセ…
カッ…
ガッ
ガッ
目の色が…変わった!?

じー…

フン…
ア
ア
ア
ア
ア
ア
こっちの方がわかりやすいぜ
テメーが一番強いんだろ…？
一騎打ちで
ケリをつけようじゃねぇか
ス…

たんっ
キィ
フン…
ググ…
剣圧は互角……
バサ

バシュッ
びしゃ
防御物質は肛門腺から発射される…
下半身の予備動作に注意すれば防御は可能だ
シローが言っていた通りだ…
だが盾で防いでも…
この匂いは…
くそっ…!!
とろ…

!!?
ボシュッ
カートの葉の粉末だ!!
わずかだが覚醒作用がある!!
!!
フン…
なにが覚醒作用だ…
痛みで目が醒めたぜ!!
バッ

ブシュウウ
……
ドサッ

ミーア!?
へっ…
ピク…ピク…

その殺傷力…
虫除けではないな…!!
殺虫剤!!
どうしてお前がそれを!?
フン…
ニィ…
どうしてかな…?

ミーア…どうしてお前が殺虫剤を!?

フン…

どうしてかな…?

第5話

この…
それは最終手段として用意したものだ…
仲間達に危険が及んだ時のためのな…!!
それをこうも安易に…ッ
またこの粉…!?

この部隊の隊長は
私だ
二度と勝手な真似はするな
…わかったか？

は…はい……
カラン…

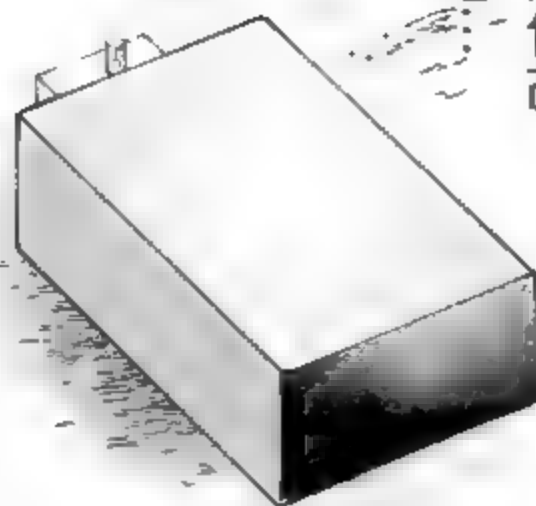
しかし…殺虫剤は元々私が用意したものだ…
私は…心のどこかでは
こうなっても仕方ないと思っていた…

私は…
自分自身への怒りをミーアにぶつけてしまったのかもしれんッ
最低だ…ッ
ギュ…

しかし…ミーアが何故殺虫剤を…

まさか…

いや…今は蟻への対処が先決だ…

確証もない…

ミーアが話を聞ける状態になってからにしよう…

ブンブン

?

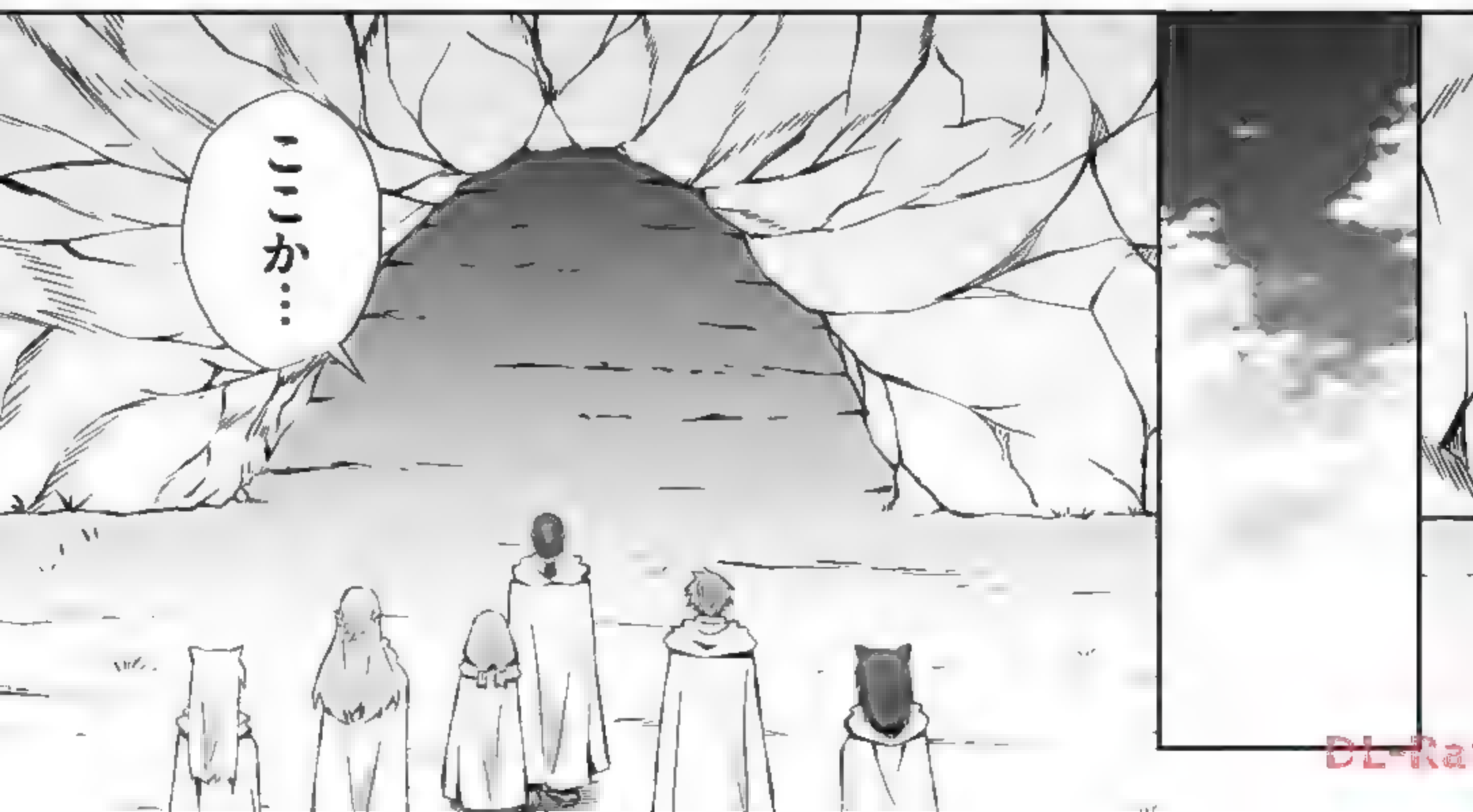
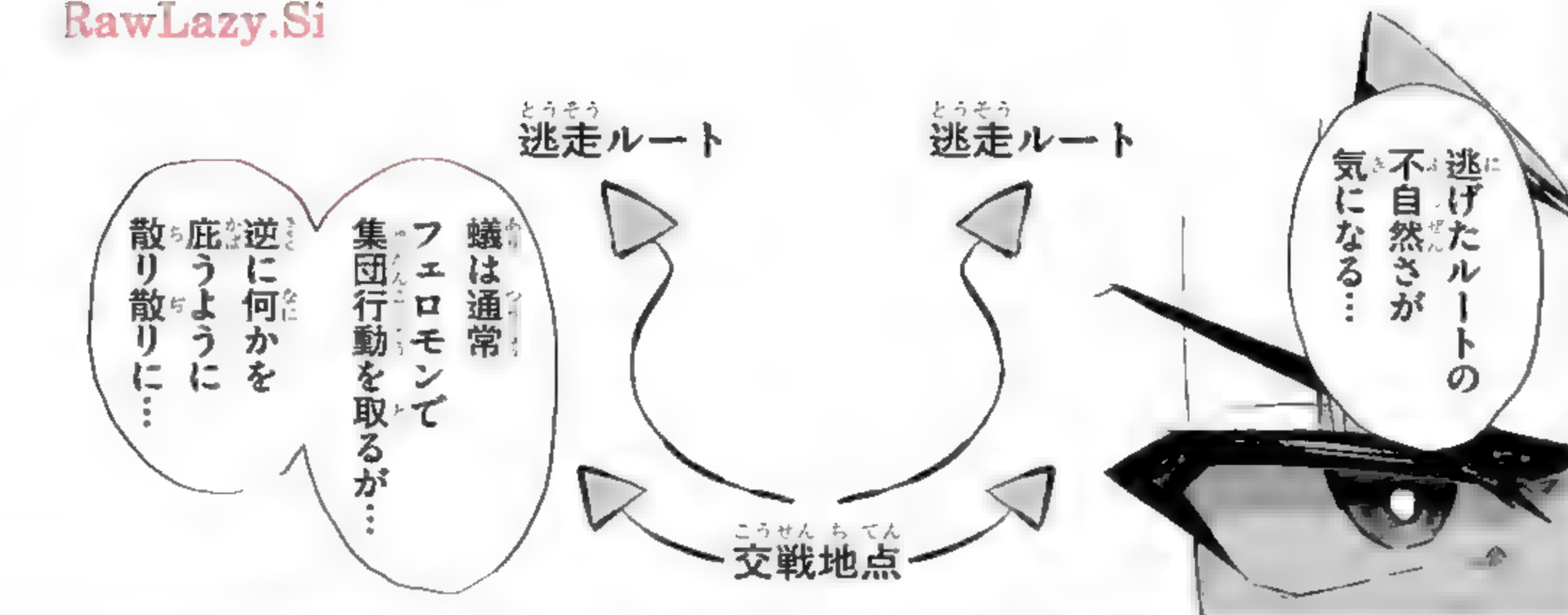
ササッ…

生き残った蟻達…

逃げちゃいましたね…

追いますか?

いや…

逃げたルートの不自然さが気になる…
逃走ルート
逃走ルート
交戦地点
蟻は通常フェロモンで集団行動を取るが…
逆に何かを庇うように散り散りに…
彼らが避けた地点に…
?
何かある！
ここか…

思った通り…
一見洞窟のようだが…これは…
隠し蟻塚だ
かなり深いぞ…
彼らが本当に護りたいものが奥にある…!
護りたいものって…?
ザッ
おそらくは…
ザッ

人間か…

よくぞここを見つけたの

思った通り…女王蟻か

女王蟻!?

ここって辺境ですよね!?

どうしてこんな所に…

女王蟻は集落ごとにいる…

それに複数女王制の蟻も存在する

やめよ
こやつらの妙な武器には敵わぬ
ズッ

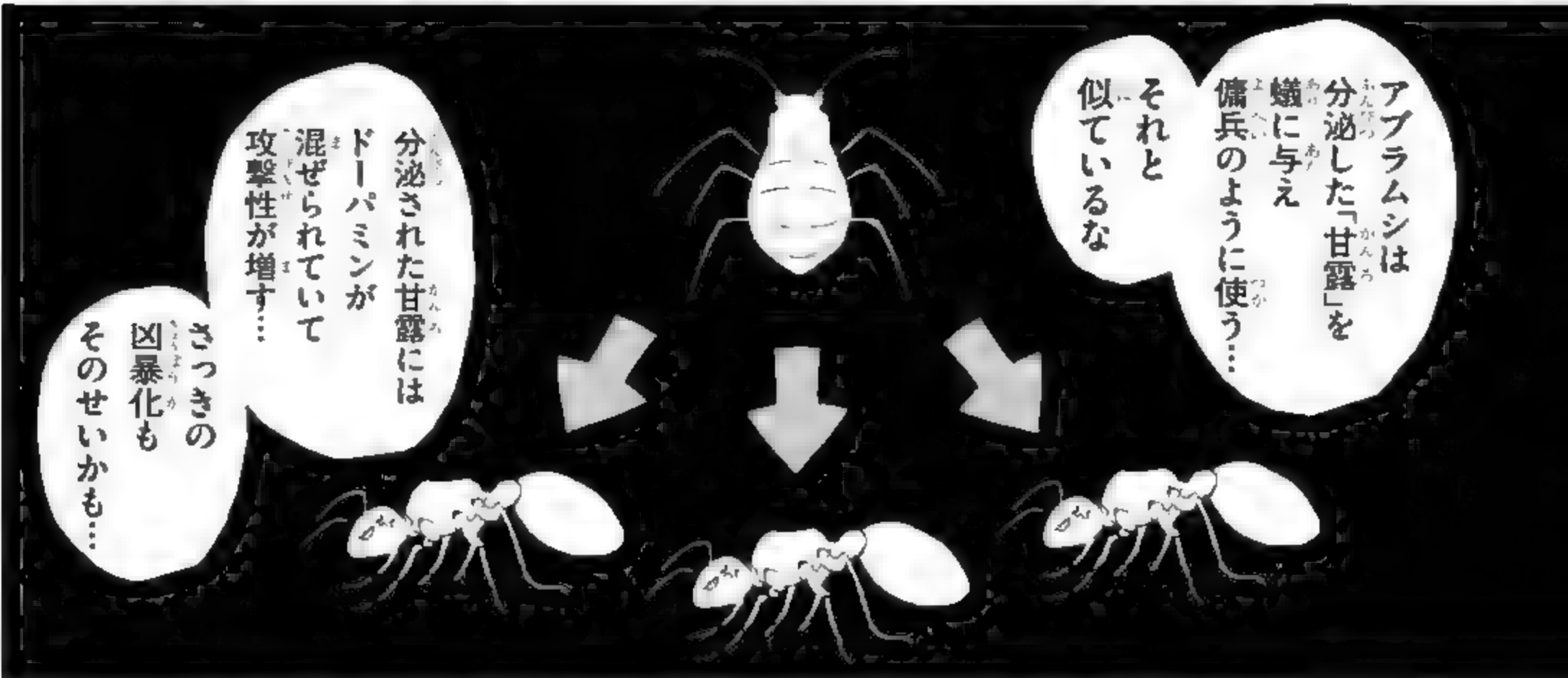
さっきから人間の言葉を…
いや…言葉というより頭に直接響いているようだ…
この異常な能力…
それに…

何故お前だけ人間の女のような姿を…?
よかろう…
話してやろう…

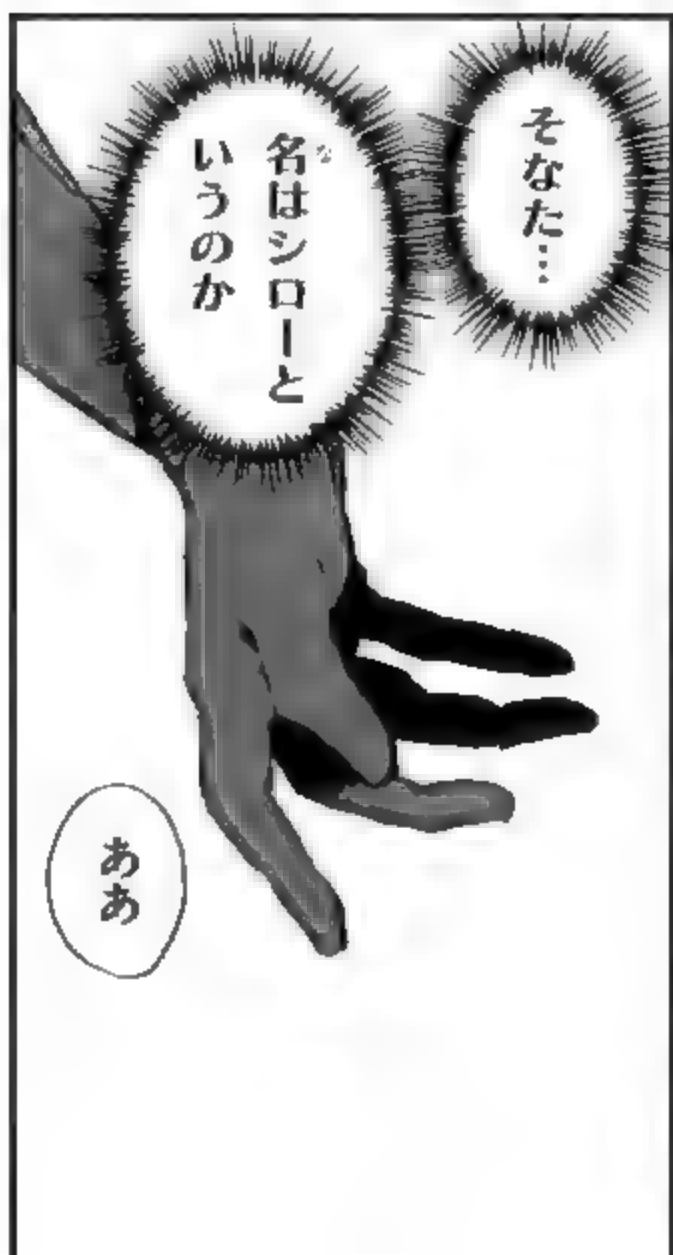
遥か昔…
我らの国に「白い女」はやってきたのじゃ…

各集落の女王は
意思疎通のため
代々
この姿と能力を
与えられた…

女は我らに
「恵み」を与えた…
その代わり
我らの兵は
凶暴化し
意のままに
操られるように
なったのじゃ…

アブラムシは
分泌した「甘露」を
蟻に与え
傭兵のように使う…
それと
似ているな
分泌された甘露には
ドーパミンが
混ぜられていて
攻撃性が増す…
さっきの
凶暴化も
そのせいかも…

すまない…
操られている
だけなのに
お前の仲間を
死なせてしまった…
構わぬ…
争いは
避けられぬよ
白い女の意志が
ある以上な
スッ…

わちも最早生きられぬ…
集落の敗北が知られれば…
他の集落の雄達がやってきて
わちは交尾の練習台として使われ
捨てられる

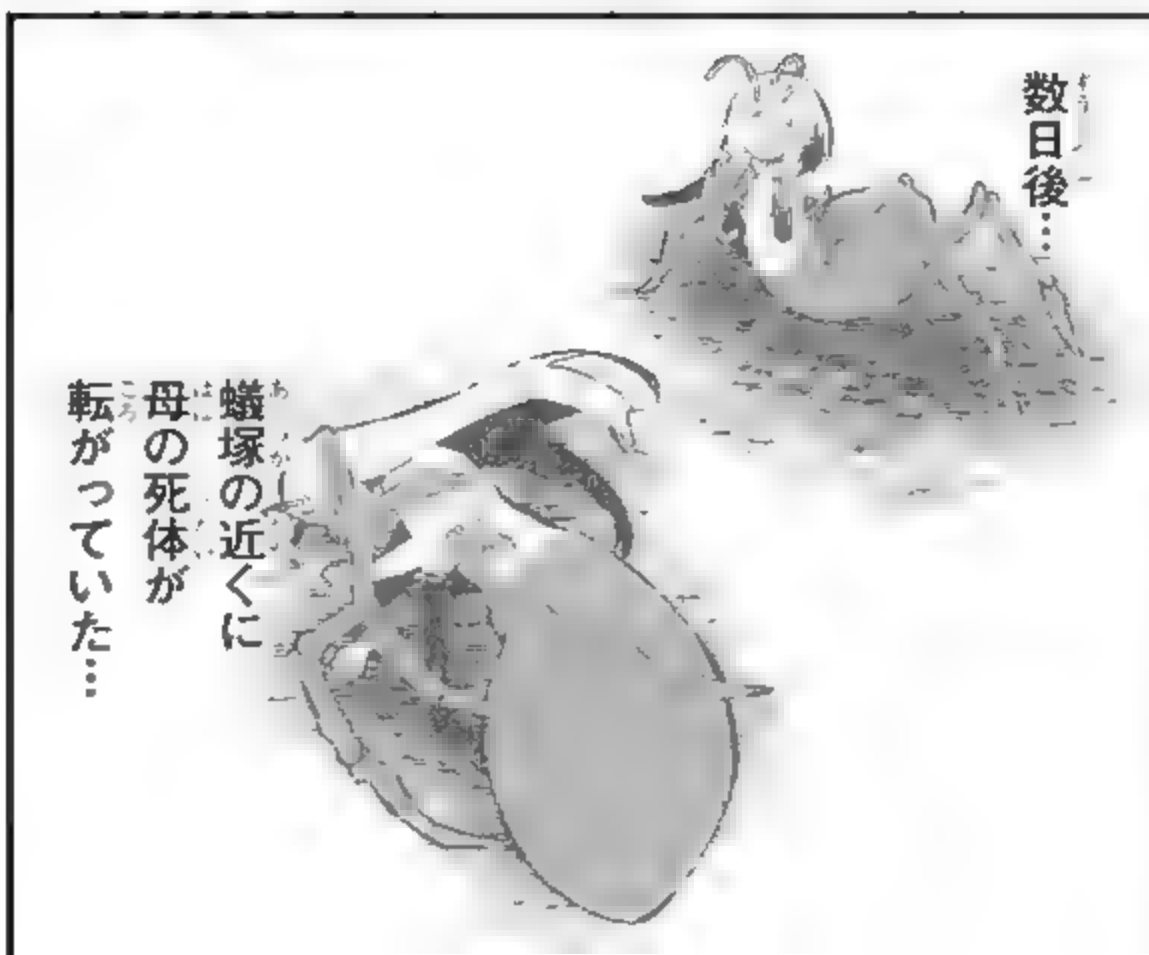
あきらめちゃダメだよ!!
私も何度も死にそうになったけど…
生きていたからシローに救われたの…!!
生きてさえいれば…きっと…

わちをそなたの奴隷として

パッ

連れて行ってくれぬか？

役割を失った
母にはもはや
交尾の
練習台としての
価値しかない…

同族は
失意の母を
性奴隷とし

容赦なく犯し…
そして捨てた…

白い女が来る前は我が一族はもっと穏やかだったと聞く…

奴がいなければ…母は助かったのかもしれぬ…

ああなるのはごめんじゃ…

同じ奴隷になるなら…

そなたの性奴隷にでもなる方が生き延びる目があろうというもの…

よかろう
連れて行こう

先生⁉

それを獣人の市場に流せば…

獣人国を崩壊させる目的に一歩近づく…!!

地下で密かに蟻の数を増やせば…

いざという時にサヴァナに対抗出来る私兵となるしな…

さて…
族長に報告しないとな…
サヴァナ
報告だ
戦闘に勝利した
虫除けには十分効果があったぞ
それと
私が作る「甘露」を取引材料に使える事も判明した
平和的な貿易の方が犠牲を出さず確実だと思うが…
どうだ？

RawLazy.Si
そいつはこっちで検討する
まぁ…ゆっくり帰ってくるといいさ
了解した
……
ザッ
サヴァナ様！
どうだ？順調か？
はっ！指示通りです
この紙が一枚しかないので出入りに苦労していますが…
よし…
DL-Raw.Se

猶予は数日…
急いで片付けろ
はっ!!

農学博士の異世界無双
～禁忌の知識で築くモンスター娘ハーレム～

女王…
名は何という
スーラじゃ…
そうか…スーラ
今のお前は私の奴隷…
どうしようと私の自由…
今からお前の身体で…
実験させてもらうぞ
くふふ…
好きに…
するがよい…
第6話

女王蟻達を捕虜とし…

我々は獣人国へ帰還した

私の作る「甘露」で蟻と平和に貿易出来ると報告すると

サヴァナは侵攻を一時保留すると約束してくれた…

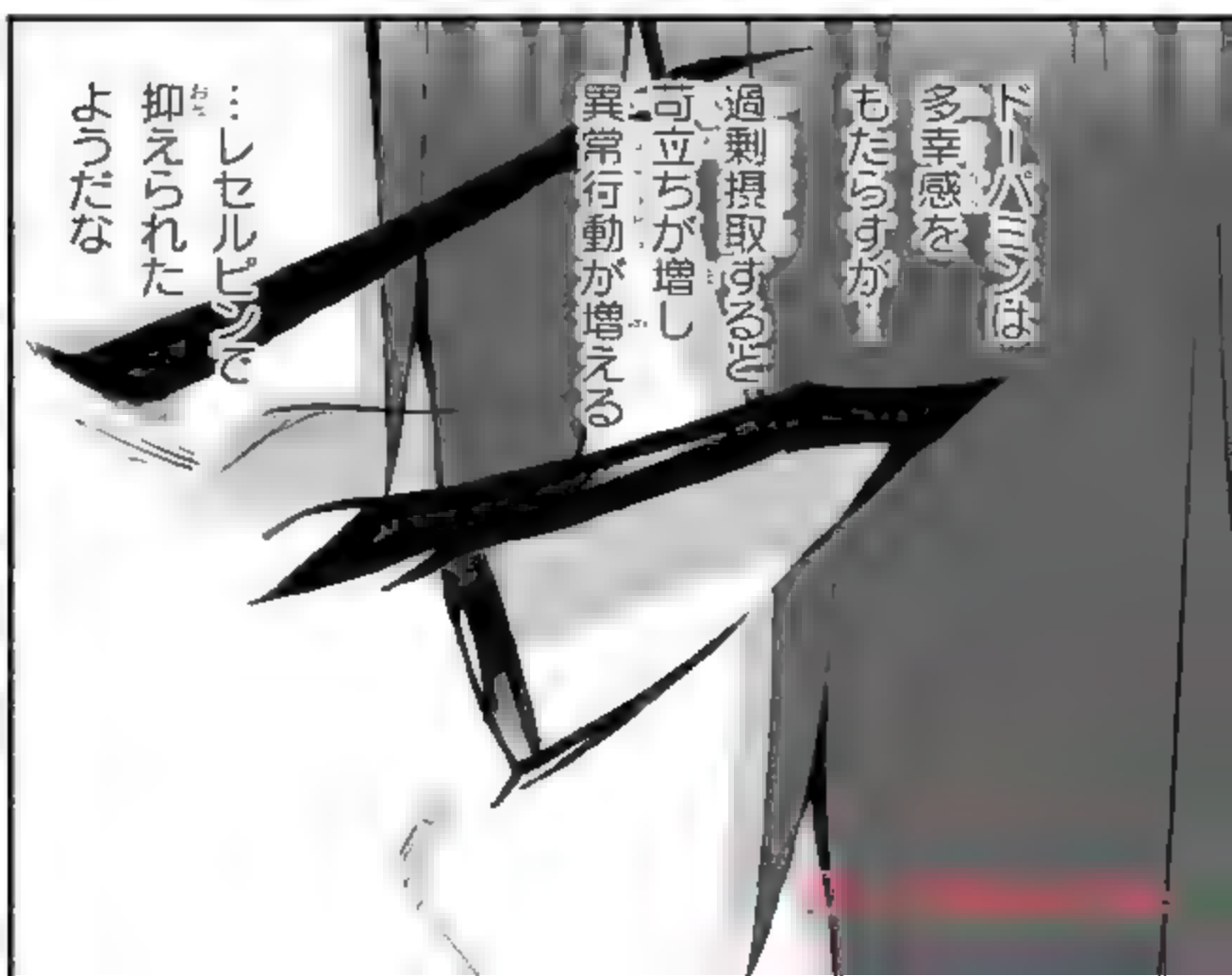
わちの身体で実験するのじゃろう？
早うせぬか
毒でも使うのか？
挑発的な言動…やはり過去の体験で自暴自棄になっている…
スーラには立ち直ってもらう
善意ではない
私の役に立ってもらうためにな…

ああ…
なんじゃ…
この気持ちは…
長らく感じた
事のない…
この気分は…
子供の
泣き声…？
誰じゃ…？
あーん…
うあーん…

あーん…
あーん…
これは…
あーん
あーん…
幼き日の…わちか？

まま…どうして
死んじゃったの
…？
あたしも…
おとなになったら
ああなるの…？
こわいよ…
すまぬな…
そなたの母を
戻す事は出来ぬ…
ぎゅっ
…
その代わり…
わちが
そなたを
抱いてやろう…

うん…
ありがとう
まま…！
……
……
気分はどうだ？
悪くない…

不思議じゃ…
わちは長らく母の死を引きずっておった…
じゃが…
今は落ち着いた気分じゃな…
思った通りだ…

シローよ…感謝するぞ
よ よせッ
お前のために
やった訳では…
ギュ
じたばた
照れずとも
よい…
感じるぞ…
そなたは…
母性を
求めておる
何ッ⁉
そなたも…
辛い幼少期を
過ごしたのであろう？
代わりにわちに
たっぷりと
甘えるがよい…

カキカキ

まったく…治療する側のつもりが
何故私の方がカウンセリングを…
にししし
伊達に歳は取っておらぬよ

流石女王…
ドクン…

どうしたスーラ!?
はぁはぁ…
はぁ…
わ…わからぬ…
はぁ…はぁ…
きゅ…急に気分が…

し…シローよ…
わ…ちを…
抱いてはくれぬ…か…？
はぁ…
はぁ…はぁ…
なに!?

何故かはわからぬが…
ぷる
はぁ…はぁ…
はぁ…
気持ちが…抑えきれぬのじゃ…っ
ぷる
はぁ…はぁう…
……

はぁ…♥
はぁ…
ドキ
ドキ
はぁ…
はぁっ…♥
はぁ…♥
ゆさ♥

はぁ…はぁ…
はぁ…♥
ズニュ…
あはっ♥

ズン
ズン
ビクンッッ♡
あっ♥
ビクッッ♡
あっ…
あ♥♥
たぽん
あん♥
あん♥♥
たぽん
ハア
ハア

こうなった
理由…
心当たりは
…ある

白い女は
女王フェロモンも
操っていたの
かもしれない…

女王フェロモンは
メス蟻の交尾を
抑制する効果が
ある…
パンッ
無秩序に
メス蟻が
交尾をしたら
パンッ
んっ…
んんっ
…あっ
コロニーを
管理出来なく
なるからだ

支配から
解放された事で
女王フェロモンの
働きから解放され
一気に発情した…
あんっ
あんっ
そんな
ところか…
はっ

幸福な
気分じゃ…

久しぶりに女王ではなく
一匹のメスに戻れた気がする…

ポロ…
白い女を倒してくれ…
母の仇を取り…我が国の民を救ってくれ…
……
シローよ…
ようやく…
本音が聞けたな
だがいいのか…？
白い女と戦うという事は
お前の国にも犠牲が…
構わぬ…

犠牲を出してでも奴を倒さねば…
我が国の民は永遠に支配される…
それではあまりに浮かばれぬ…
…わかった

…優しい女だ
抑鬱状態にありながらも
ずっと民の事を考えていたのか…

弱肉強食が全ての世界だと思っていたが…
…この世界の住人も捨てたもんじゃない

ザッ…
先生!! ここにいたんですか!! 大変ですッ!!
ダッ
どうした?
獣人達が…
アンティノス国への侵攻を開始しましたッ!!
なにッ!?
DL-Raw.Se

しかも奴ら…殺虫剤を配備してるみたいなんです!!
なんだと!?
どういう事だ…
たらっ…
まさか…
ドドド
ドドド
クス

第7話

獣人達がアンティノス国への侵攻を開始しました!!

しかも…殺虫剤を配備しているんですッ!!

何ッ!?

せ…先生…情報が漏れたって事は…

もしかして…僕達の中に…

ボソッ…

それ以上…

言うな…

な…
なんだ？
先生の様子が…

まるで犯人が
わかっていて…
庇っているような…

ザッ…

私を庇って
くれるなんて
先生は
優しいですね…

いいんです…
私が

殺虫剤の情報を
獣人達に
流しました

遠征前… 手柄を焦っていた ミーアに 殺虫剤を与え…

サヴァナ達には 製造法を教えて… カードキーまで 渡しました

設備のメモさえ 渡しておけば 獣人達でも 製造は 可能ですからね

なんで…!? 君は

先生の平和思想に 一番共鳴していた はず…

そう… 私は先生を 崇拝している…

でも… 平和なんて 本当は どうでもいい…

私は先生が 無事なら それでいいの…

ムグ…

なのに…っ!!

遠征隊長を 自ら買って 出るなんて…

そんな事を この先何度 繰り返す気 ですか!?

その度に 先生の 尊い身体が

危険に 晒されるん ですよっ…!!

それよりも…
獣人達に
殺虫剤の
レシピを渡して
蟻を皆殺しに
してもらえば
いいんですっ!!

な…
なんて
事を…
ガタ
ガタ

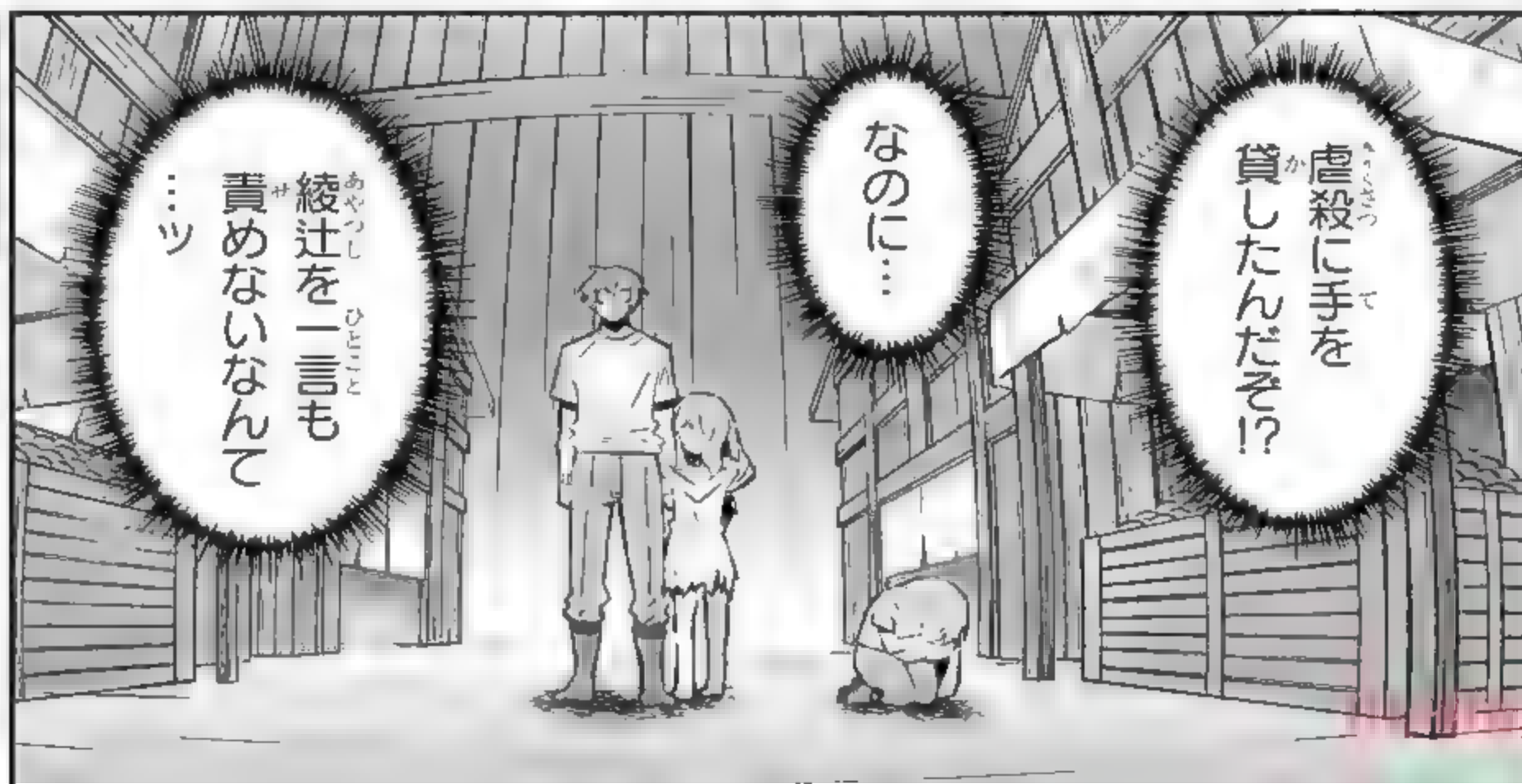
スッ…

先生!?
どこへ
行くんですか!?
私を叱って
くれないいん
ですかっ!?

私が…
大事な教え子を
責める訳
ないじゃないか…

謁見の間

おーおー どうした? 怖い顔だな

イジめられ ちまいそうだ♡

こいつ‼
サヴァナ様に‼
侵攻をやめろ？
いい…好きにさせておけ
そいつは出来ない相談だな…
ぐぐ…
既に先行部隊が蟻どもの集落で戦果をあげている…
ぜぇ…
屍の山だもう引き返せねぇんだよ！
ぜぇ…
くッ…
それよりよ…お前正式にアンティノス討伐軍の大将にならねーか？
ギリ…
なんだと⁉

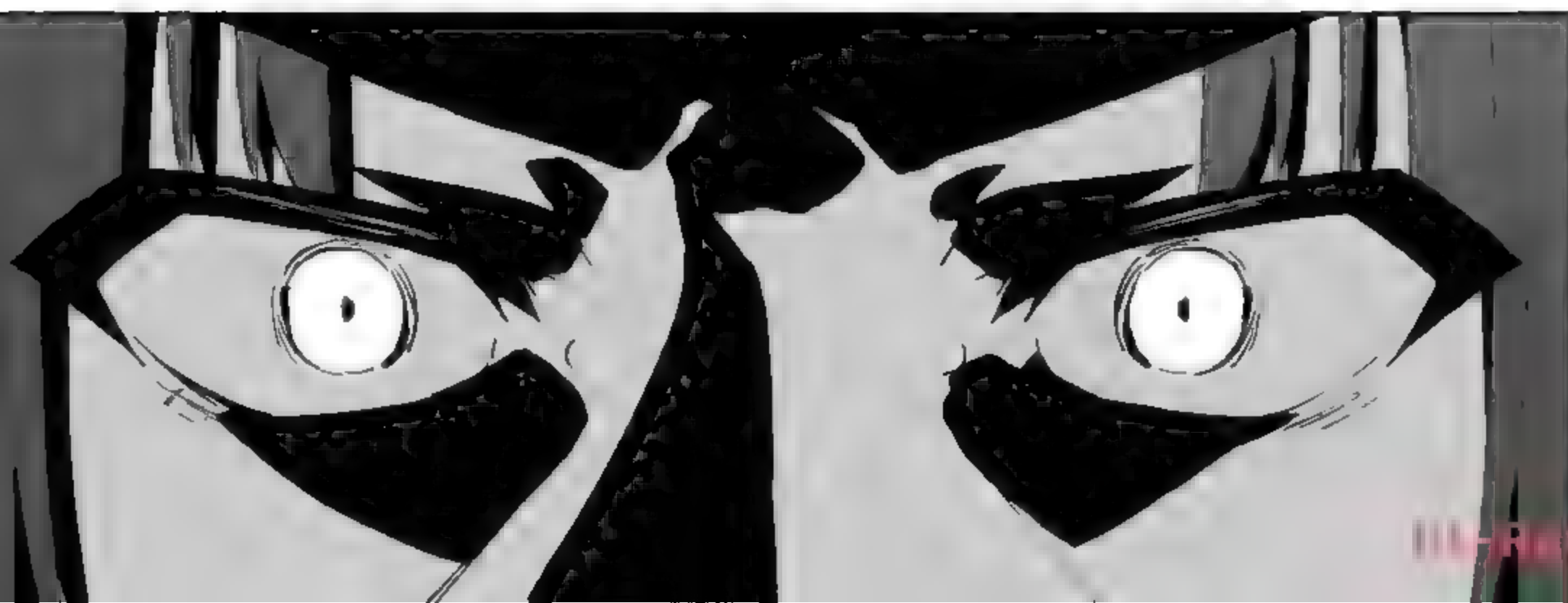
お前なら
あの武器の
使い方をよく
知っている…
蟻どもの
性質にも
詳しいようだ…

部隊を
効率良く
運用出来る

断る!!

誰が……!!

本当はこうなると

予期していただろう？

そうだ…
私はあの時…

情報が
流されている事に
気付きながら

何故あえて
黙っていた…?

その後
こうなる事も
予想していたのに…

その方が…

都合がいい
…から?

賢さが
命の価値だと
思っていて
獣人や蟻どもを
下に見ているんだ

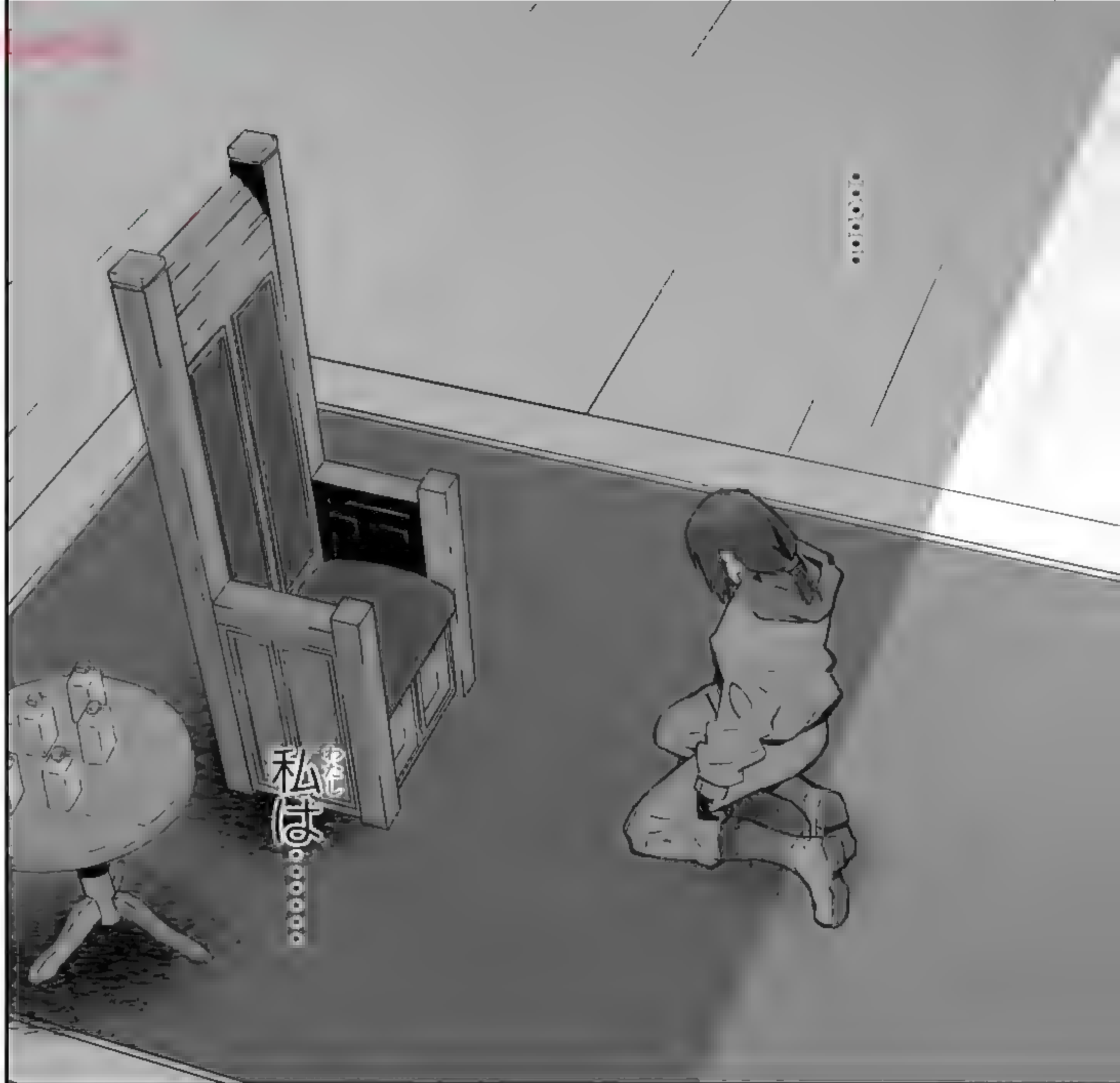
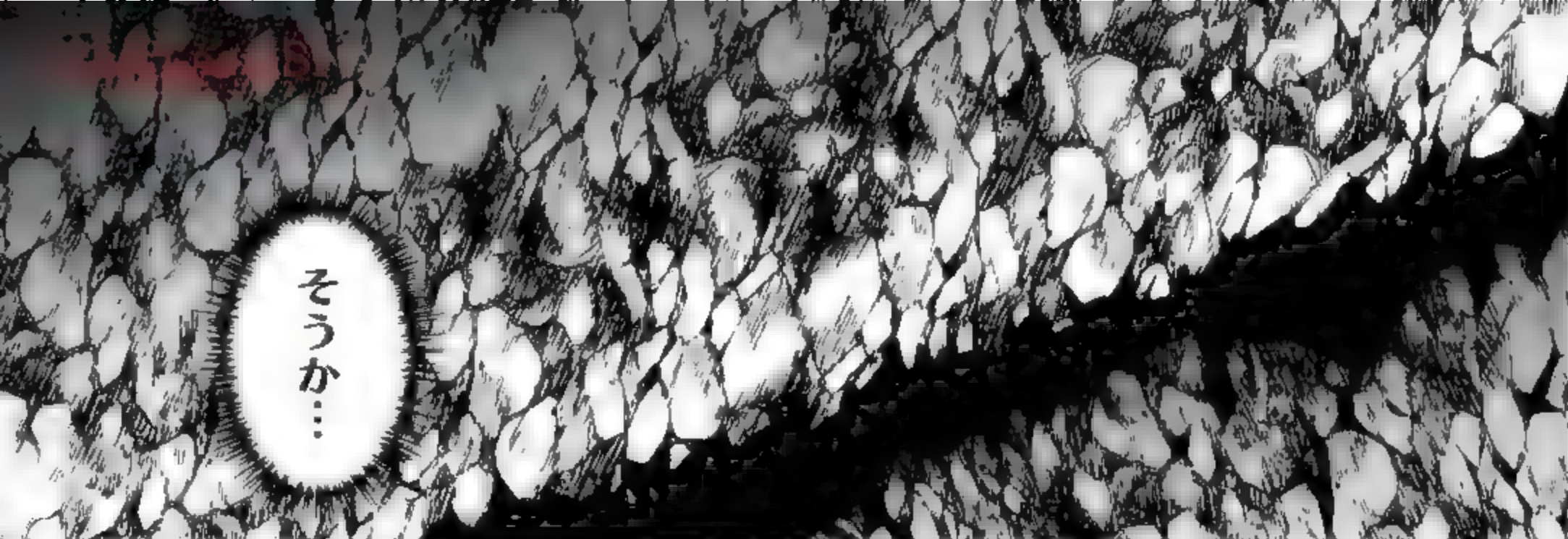
オメーは
人間が一番
偉いと思ってる…

だから
あんなモンを
平気で作れる…

悪党が…
アタシと同類だよ

……

私は……

そうか…

戦いが
始まったか…

何を迷う
必要がある?
言った
はずじゃ…
白い女を
倒すためには
同族の犠牲は
仕方ない…と

むしろ
戦いを早く
終わらせるには…
そなたが
大将になるのが
望ましい

わちも協力しよう…

アンティノス国の組織や地理を知れば

そなたはかなり有利になるはずじゃ

ク……

ククク…

シロー…?

蟻の女王であるお前が

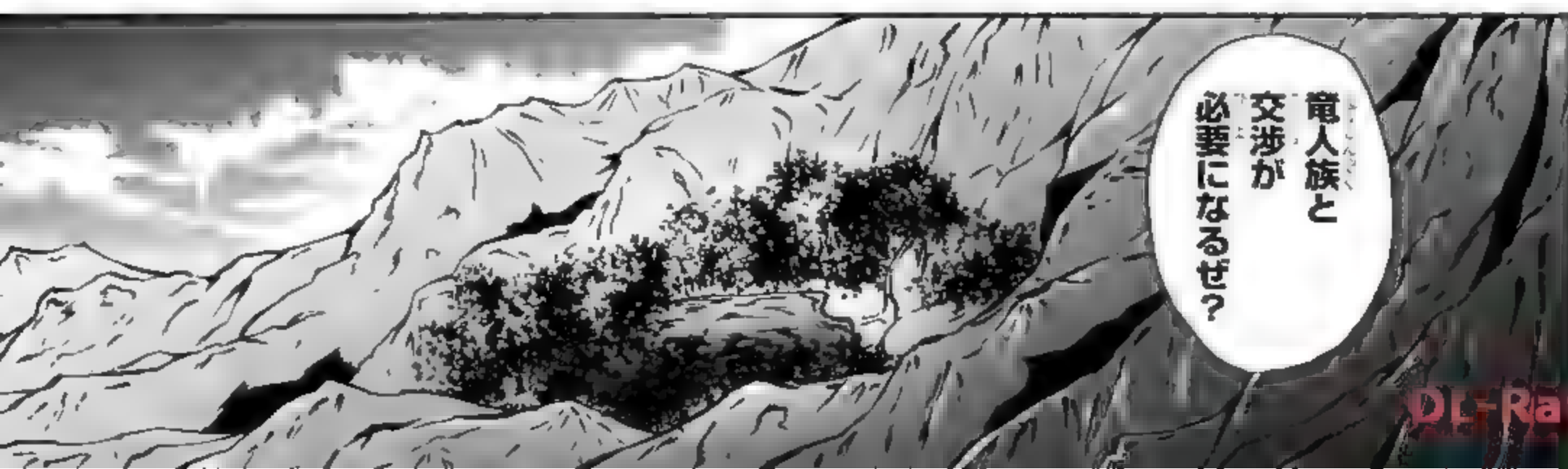
私にお墨付きをくれるか…

よかろう…情報をくれ

敵の中枢を叩き

この戦争を一気に…終わらせる

い…いや…善人だったシローが殺戮に手を染めるのじゃ…
無理に己を昂らせているに違いない…
ましてこの世界に来てから緊張の連続…
何の能力も持たぬ人間が知識のみで生き延びてきたのじゃ
ギュッ
…
自棄になるのも無理はない…
辛い役目をさせてすまない…
信じておるぞ…
シロー…っ
ありがとう 任せてくれ…

獣人国
軍略会議室
サヴァナ
次の進軍ルートが決まったぞ
ここだ
なに？
厄介な事言いやがる…
そのルートを通るには…
トントン
竜人族と交渉が必要になるぜ？

この感じ…
だれか…
…くる?

スペシャルサンクス
Special Thanks

設定協力
京都大学博士（農学）K様

レギュラーアシスタント
影山様
お茶だんご様（Xアカウント：@0tyadang0）

1
原作 インド僧
Indoso
作画 ヤスウミ
Yasuumi
農学博士の異世界無双
～禁忌の知識で築くモンスター娘ハーレム～
DRAGON COMICS AGE
CONTENTS

DRAGON COMICS AGE

農学博士の異世界無双 ～禁忌の知識で築く

1

原作 インド僧 Indoso

富士見書房

農学博士の異世界無双

～禁忌の知識で築くモンスター娘ハーレム～

DRAGON COMICS AGE
農学博士の異世界無双
~モンスター娘ハーレム~
1
作画
ヤスウミ
Yasuumi

ドラゴンコミックスエイジ

農学博士の異世界無双
～禁忌の知識で築くモンスター娘ハーレム～ 1

原作　インド僧
作画　ヤスウミ

2024年2月9日　発行
ver.001

本電子書籍は下記にもとづいて制作しました
ドラゴンコミックスエイジ『農学博士の異世界無双　～禁忌の知識で築くモンスター娘ハーレム～ 1』
2024年2月9日　初版発行

発行者　山下直久
発行　株式会社ＫＡＤＯＫＡＷＡ
https://www.kadokawa.co.jp/
編集企画　ドラドラしゃーぷ＃編集部

●お問い合わせ
https://www.kadokawa.co.jp/　（「お問い合わせ」へお進みください）
※内容によっては、お答えできない場合があります。
※サポートは日本国内のみとさせていただきます。
※Japanese text only

カバー・本文デザイン　AFTERGLOW

初出　ドラドラしゃーぷ＃2023年5月～12月更新